

# ISOの制定済み規格・審議中の規格案・JIS化状況

EMM = Earth-moving machineryの略

BCME = Building construction machinery and equipmentの略

RCME = Road construction and maintenance equipmentの略

MEWPs = Mobile elevating work platformsの略

2022年4月14日更新

TC 127(傘下のSC含む)の制定済み規格及び作業項目

(他のTC主導の合同案件含む)

## Standards and projects under the direct responsibility of TC 127 Secretariat and its SCs

所管TC/ SC	ISO No:Y	Standard and/or project	和文標題 (JIS標題)	規格内容乃至問題点	JISとISOの 対応など	対応 JIS
ISO/TC 127/SC 2	ISO 2860: 1992	EMM -- Minimum access dimensions	土工機械－ 整備用開口 部最小寸法	整備などのため手や体を入れる 機械の開口部の最小寸法を規 定、2018-06-04期限の定期見直し で大多数の投票によって「確 認」	(IDT)	JIS A 8301: 2000
ISO/TC 127/SC 2	ISO 2867: 2011	EMM -- Access systems	土工機械－ 運転員及び 整備員の乗 降用・移動 用設備	2 m 以上の作業床に対する保護 柵の要求を強化(推奨から規定へ) などの改正で、輸送制限とのか ねあい、20 t級ショベルなどの 対応は各社かなり苦慮されたよ うである	ISO 2867:2011年 版に基づき (IDT)改正版 2017年発行	JIS A 8302: 2017
ISO/TC 127/SC 2/AH 3	ISO 2867改 正可能 性	EMM -- Access systems	土工機械－ 運転員及び 整備員の乗 降用・移動 用設備	オーストラリア(Caterpillar社の ALI氏)が、自国の規格化に際し て問題となった点を、ISO改正の 可能性を求めてISO/TC 127/AH 3 での検討を要請、2021年8月11 日、12日の会合で検討した専門 家間の論議の結論を間近の定期 見直し投票中時に利用すべきと 2021年11月2日の親SC 2総会で論 議され、2022-03-13期限の定期見 直しでは多数が「確認」も日本 含む3か国が「改正」の旨投票 し、今後論議と思われる		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 3164: 2013	EMM -- Laboratory evaluations of protective structures -- Specifications for deflection- limiting volume	土工機械－ 保護構造の 室内評価試 験－たわみ 限界領域の 仕様	小形の座席調整の無い～少ない 機械や、身体寸法の特성에基 づいてDLV(たわみ制限領域)を見直 し、だいぶ以前であるがSC 2/WG 18で検討され2013年版発 行、その際に日本からはコマツ の専門家が参画された	ISO 3164:2013年 版に基づき (IDT)改正版 2017年発行	JIS A 8909: 2017

ISO/TC 127/SC 2	ISO 3164: 2013/ FDAm d 1	EMM — Laboratory evaluations of protective structures — Specifications for deflection- limiting volume — Amendment 1	土工機械— 保護構造の 室内評価試 験—たわみ 限界領域の 仕様	関係する各規格間でのDLVの許 容傾斜などを整合化するための 追補で、ISO/TC 127/SC 2/WG 31 の活動の一環(の筈であるが2021 年の会議では特段取り上げられ ていない)として米国斗山Bobcat 社のNEVA氏をPLとして作業、 2021年3月26日期限のDAM投票 で大多数の賛成で承認され、 FDAM投票準備中である、なお 2013年版そのものは2018-09-13の 定期見直しでは確認されている		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 3411: 2007	EMM -- Physical dimensions of operators and minimum operator space envelope	土工機械— 運転員の身 体寸法及び 運転員周囲 の最小空間	大柄から小柄の運転員の身体寸 法及び運転員周囲の(キャブなど の)最小空間を規定、なお、日本 は以前から日本的体形への配慮 を求め、付随的記載ではあるが 若干の配慮はされている、ま た、2021-12-02期限の定期見直し では「確認」されている	ISOの2007 年版に基づ く(IDT)JIS 改正発行済 み	JIS A 8315: 2010
ISO/TC 127/SC 2	ISO 3449: 2005	EMM -- Falling-object protective structures -- Laboratory tests and performance requirements	土工機械— 落下物保護 構造—台上 試験及び性 能要求事項	落下物に対して運転員を保護す る構造物の試験と評価基準につ いて規定、2014-03-19期限の定期 見直しでは改正との意見もあっ たが、結局「確認」となってい る。(改正の新業務提案は2017年 の広島総会で廃案、当該WG 20 も2018年の柳州総会で解散の経 緯あり)	JISは2005年 版ISOに基 づく(IDT)	JIS A 8920: 2009

ISO/TC 127/SC 2	ISO 3450: 2011	EMM -- Wheeled or high-speed rubber-tracked machines -- Performance requirements and test procedures for brake systems	土工機械－ 車輪式又は 高速ゴム履 带式機械－ 制動装置の 性能要求事 項及び試験 手順	現行版は制動装置の性能をEU規 制に整合の意図によっている が、ダンパの制動装置に関する 傾斜地での能力の表示、地下鉋 山機械の扱い、ローラなどに対 する要求追加など含め問題とな り、ISO 3450の停止距離要求よ りも大特などに対する国内保安 基準の方が厳しいとの問題、ま た、二次制動装置に関する試験 要求の解釈などの問題から日本 は反対も賛成多数で発行経緯あ り、なお、2017-03-06期限の定期 見直しでは、日本は「改正」の 旨投票も、結局「確認」となっ ている	JIS A 8340-1 では適宜国 内法令適用 を追記して ISOに基づ く(MOD)附 属書JFとし ており、 ISO 20474- 1: 2017に基 づく JIS A 8340-1改正 原案も国内 事情による 附属書JBと する方向	JIS A 8340- 1: 2011 附属 書JF
ISO/TC 127/SC 2	ISO 3457: 2003	EMM -- Guards -- Definitions and requirements	土工機械－ ガード－定 義及び要求 事項	フェンダ、ファンガードなど防 護装置の定義及び仕様を規定、 2019-09-02期限の定期見直しで は、「改正」との意見もあった が、結局「確認」	2003年版 ISOにより JIS改正 (IDT)	JIS A 8307: 2006
ISO/TC 127/SC 2	ISO 3471: 2008	EMM -- Roll- over protective structures -- Laboratory tests and performance requirements	土工機械－ 転倒時保護 構造－試験 及び性能要 求事項	機械が30度傾斜地で一回転の転 倒をしたときに運転員が押しつ ぶされないように保護する構造 物の要求事項を規定、2018-06-04 期限の定期見直しでは数か国か ら「改正」との意見もあった が、結局「確認」	最新版に基 づく JIS A 8910改正済 み(IDT)	JIS A 8910: 2012

ISO/TC 82/SC 8/JWG 3	ISO/PWI 3502	Reference framework and architecture for advanced automation and autonomy	高度自動・自律運転の参照枠組み及び構成	ISO/TC 82/SC 8ストックホルム総会でチリのNeumann氏をコンビナー、オーストラリアの専門家をPLとして設立、ISO/TC 127/SC 3に合同WGとする旨招請、後者のCIBで決議されISO/TC 82/SC 8/JWG 3に改番、2020年2月13日に東京で会合、その後数回のWeb会議(2020年8月、2021年3月17日、6月15日・16日、7月13日・14日、10月5日・12日、2022年3月8日、15日)を開催するとともに、WG意見聴取(2021年7月5日期限)、2021年10月以降特設チームでの検討実施して主要論点と全般的な概要など検討、当面ISO/TR(技術報告書)作成方向で、なお、チリのコンビナーは交替の方向		
ISO/TC 82/SC 8/JWG 4	ISO/PWI 3510	Specification of interoperability of teleoperated, autonomous, and manned mining equipment	遠隔運転・自律運転、有人運転鉱山機械の相互運用性の仕様	(ISO/TC 82/SC 8(高度自動化採掘システム)主導のISO/TC 127/SC 3との合同案件)TC 82/SC 8ストックホルム総会でISO/TC 82/SC 8/WG 1として日本のコマツの岡氏をコンビナー、米国コマツの専門家をPLとして設立され、ISO/TC 127/SC 3に合同WGとする旨招請、後者のCIBで決議されたのでISO/TC 82/SC 8/JWG 4に改番、2020年2月14日に東京で会合、その後はコロナのため活動が制約されたが、2021年10月18日と11月10日にWeb会議を開催して検討推進中		
ISO/TC 127/SC 3	廃止済み ISO 3541:1985	EMM — Dimensions of fuel filler opening	土工機械—燃料給油口及びキャップの寸法	燃料給油口及びキャップの寸法を規定	ISO廃止済みもJISとしては一部で使用のため存続	JIS A 8912:1988

ISO/TC 127/SC 3	ISO 4510-1: 1987	EMM -- Service tools -- Part 1: Common maintenance and adjustment tools	JIS：建設機械用搭載工具の種類及び仕様 ISO：土工機械－サービス工具－第1部：整備調整用共通工具	日常整備及び調整作業に使用するため機械に搭載する手工具の種類及び寸法について規定、2021-12-02期限の定期見直しでは棄権除く満票で「確認」	JISはISOを国内実情により一部変更(MOD)	JIS A 8905: 1993
ISO/TC 127/SC 3	ISO 4510-2: 1996	EMM -- Service tools -- Part 2: Mechanical pullers and pushers	土工機械－サービス工具－第2部：機械式着脱具	ギヤやベアリングの着脱に使用するための機械式押し引き具の種類及び寸法について規定、2017-12-04期限の定期見直しでは棄権除く満票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 5005: 1977	EMM -- Method for locating the centre of gravity	土工機械の重心位置測定方法	機械の重心位置の測定方法を規定、2021-09-03期限の定期見直しでは棄権除く満票で「確認」	JISはISOを当時のJIS様式などにより一部変更(MOD)	JIS A 8915: 1995
ISO/TC 127/SC 1	ISO 5006: 2017	EMM -- Operator's field of view -- Test method and performance criteria	土工機械－運転員の視野－測定方法及び性能基準	運転員位置からの視野試験評価方法を規定。以前から改善をISO/TC 127/SC 1/JWG 5で検討、欧州の人身事故に際しEU機械指令対応 CEN欧州整合化規格EN 474-1のISO 5006参照箇所が指令の必須安全衛生要求事項不適合とされ、その旨EU官報公示され、ISO 5006を緊急改正要となり、当該WGをフランス労働省労働総局DGT・国立安全研究所INRSなどで開催、日本は狭隘現場での事故防止を小旋回形ショベルで物理的に安全対策しているとしたが、WGを実質主導する欧州専門家が小旋回形に多い機械後方補助ミラーを評価しない問題あったがやむを得ず、ショベル右側補助ミラーの評価時作業機動作の表記の論点も2017年6月の広島総会で欧州側方針に沿った訂正に決議で同意し、2017年7月に訂正版発行に至った。	2018年にISO 5006:2017に基づくJIS A 8311改正原案(IDT)作成提出し改正版発行済み	JIS A 8311: 2018

ISO/TC 127/SC 1	ISO/p Wi 5006	EMM -- Operator's field of view -- Test method and performance criteria		もともと進行していたISO 5006の長期的改正のための検討について、ISO 5006の更なる改正をPWI予備業務項目として開始し、ウィーン協定の下で実施予定と決定され、その後、柳州総会での決議でSC 2とのJWGを解消、単にSC 1/WG 5とすることとなり、コンビナーは米国Caterpillar社のCrowell氏が再任も、その後も動きなく、2021年10月26日のISO/TC 127/SC 1ウェブ総会では2022年末の定期見直しを考慮してそれ以前に、予備的検討を行うこととしてWG継続とし、米国のコンビナーに予備業務としての検討再開のための提案書を新業務提案様式Form4に倣って2022年1月10日までに作成提出を求める決議採択されたが未実施である		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 5010: 2019	EMM — Wheeled machines — Steering requirements	土工機械—車輪式機械—かじ取り装置要求事項	ISO 5010の対象を、ゴムタイヤ式だけでなく鉄輪ローラにも拡大、従来対象外の20 km/h以下も対象に含める改正で、日本は、マカダムローラの複ハンドル式かじ取りの反映、車体屈折用シリンダが1本だけのミニロードがかじ取り操作に対する応答を左折と右折とで同一とするのは困難な点の反映を、国際SC 2/WG 21に参画して意見主張、CDなどの経緯を経て2018年10月23日期限のDIS承認、2019年2月ローマで開催のWG 21で各国意見調整、2019年10月16日期限でFDIS投票承認され2019年11月に改正発行	IDT、現行 JIS の7.6 で tyre tread width の輪距との訳は不適でタイヤ踏面幅とすべきとして正誤表発行の要請あるも、むしろ、ISO 5010:2019 のJIS 化を推進すべきと思われる	JIS A 8314: 2013 は ISO 5010 の旧版対応
ISO/TC 127/SC 2	ISO 5353: 1995	EMM, and tractors and machinery for agriculture and forestry -- Seat index point	土工機械—座席基準点 (SIP)	座席に関し、(標準的(50パーセント点)な運転員の腰の関節に相当する位置の)設定方法を規定、運転員関係の各種配置検討の際に参照している。なお、2021-12-02期限の定期見直しでは一部「改正」との意見もあったが大多数の意見で「確認」	(IDT)	JIS A 8318: 2001

ISO/TC 127	ISO/P WI 5757	Rechargeable energy storage system (RESS) application for EMM	土工機械に適用する(二次電池など)回生可能エネルギー貯蔵システム(RESS)	2020年6月のISO/TC 127Web総会に向けて(二次電池など)回生可能エネルギー貯蔵システムの標準化を米国が提案し、予備業務項目投票(2020年8月24日期限)承認、WG設立も投票承認(2020年10月15日期限)、米国斗山Bobcat社のSPOMER氏をコンビナーとしてISO/TC 127/WG 17にて検討開始、2020年12月16日に第1回Web会合開催、蓄圧器も対象に含むのかなど基本的な検討方針含め、また蓄電池に関するEUなどの法規制なども論点とするなどして、数次にわたりWeb会議(2021年3月18日、6月3日、9月9日、12月1日、2022年2月16日)開催して検討、次回は5月18日に予定されているが、当面、蓄電池の法規制対応中心に論議されている		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/W D 5953	EMM-- Material handling arms on loaders and backhoe loaders-- General requirements	土工機械—ローダ及びバックホウローダの荷扱い用アーム—通則	ローダアームなどへの荷扱い用のアームの装着に関してスウェーデンから提案、2020年6月のISO/TC 127総会の際に説明され、その後、NPが投票(2020年12月25日期限)承認、WG設立を2021年3月17日期限のCIB投票で承認、スウェーデンのElvius氏をPL兼コンビナーとしてISO/TC 127/SC 2/WG 32で検討、Web会議を数回開催(2021年6月17日、8月17日、9月30日、11月9日、2022年2月16日)して検討中。日本も専門家登録して参画も、国内法令との齟齬(用途外使用)の問題を指摘している		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6011: 2003	EMM -- Visual display of machine operation	土工機械—表示機器	表示機器を使用して運転員に知らせるべき情報、機器の配置などについて規定、なお、2016-09-17期限の定期見直しでは「確認」多数もかなりの「改正」意見があった(改正動向は次項に示す)	ISOに基づく(IDT)JIS	JIS A 8336: 2009

ISO/TC 127/SC 3	ISO/DI S 6011 [Under develo pment]	EMM -- Visual display of machine operation	土工機械－ 表示機器	2017年広島総会でモニタ化進展 反映などの「改正」を決議、米 国斗山Bobcat社のSPOMER氏を コンビナー兼PLとしてTC 127/SC 3/WG 15設立してISO 6011改正検 討、2019年12月12日～13日の東 京WG会議で着座式だけでなく直 接操縦式に適用範囲拡大、遠隔 操縦式は規格の原則を適用可、 テルテールも対象に含めるなど と論議、2020年7月21日、22日及 び11月18日、19日にもWeb会議 で検討、適用範囲拡大のNPを 2021年4月7日期限で投票承認、 2021年4月28日・29日Web会議で 案文検討してCD投票(2021-09-02 期限)に進め、投票承認された が、その際の意見を2021年12月 14日～16日の会議で検討、改訂 案文をWG 15で意見確認(2022年1 月21日期限)してDIS段階に進め た		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6012: 1997	EMM -- Service instrumentation	土工機械－ サービス診 断用計測器 具	作業現場で機械を点検するため の診断用計測器具のリストを指 針として規定、なお、2016-09-17 期限の定期見直しでは大多数の 投票によって「確認」	ISOに基づ く(IDT)JIS	JIS A 8110: 2000
ISO/TC 127/SC 1	ISO 6014: 1986	EMM -- Determination of ground speed	土工機械－ 走行速度の 測定方法	機械の走行速度の測定方法を規 定、なお、2017-03-08期限の定期 見直しでは大多数が「確認」投 票し、「確認」	ISOに基づ く(IDT)JIS	JIS A 8319: 2001



ISO/TC 127/SC 1	ISO 6015: 2006	EMM -- Hydraulic excavators and backhoe loaders -- Methods of determining tool forces	JIS：土工 機械－油圧 ショベル－ 第5部：掘 削力測定方 法 ISO：土工 機械－油圧 ショベル及 びバックホ ウローダー 掘削力測定 方法	油圧ショベルの各種作業機に関 連した掘削力の測定方法を規 定、なお、2018-12-03期限の定 期見直しでは、日本はJISでの ISOからの変更の点もあり「改 正」投票も、多数の投票によっ て「確認」となった	ISOに基づ くが (MOD)、JIS ではロー ディング ショベルな どに関連す る規定を追 加	JIS A 8403- 5: 2010
ISO/TC 127/SC 1	ISO 6016: 2008	EMM -- Methods of measuring the masses of whole machines, their equipment and components	土工機械－ 機械全体、 作業装置及 び構成部品 の質量測定 方法	機械の全体及びエキップメン ト及び構成部品の質量の定義及 び測定方法を規定、なお、2018- 12-03の定期見直しでは、国内事 情とISO現行版との齟齬の問題か ら日本は「改正」投票も、他の 大多数の投票によって「確認」	現行JISは ISOの旧版 に基づく (IDT)、ISO の2008年改 正版をJISと して要フォ ローではあ るが、ロー ラの運転質 量で散水タ ンク半量な ど日本の実 情と不一致 との問題あ り、そのま ま改正は不 具合な点か ある	JIS A 8320: 2001

ISO/TC 127/SC 2	ISO/PWI 6135	EMM – Safety of control systems containing non-deterministic aspects	土工機械—非決定論的様相を含む機械制御系の安全	2019年8月末のISO/TC 127/SC 2/WG 24東京会議で提起された非決定論的様相を含む機械制御系の安全(例えば、機械学習～深層学習に基づく画像認識技術を適用して機械を制御する場合に、データからの推論によって機械を動作させることとなるため必ずしも決定論的とはならない場合)に関して、自動車分野のISO/DIS 21448(自動車—意図した機能の安全性)に基づく標準化を予備業務として進めることが2021年4月13日～29日のSC 2/WG 24会議で論議され、これに基づく予備業務投票(2021年10月16日期限)承認され、ISO/PWI 6135として検討されることとなった		
ISO/TC 127/SC 4	ISO 6165: 2012	EMM -- Basic types -- Identification and terms and definitions	改正ISO：土工機械—基本機種—識別及び用語及び定義 現行JIS：土工機械—基本機種—用語	土工機械の基本機種の呼称を規定、改正版では、履带式スキッドステアローダのミニの範囲変更など、作業器具交換式ミニローダなどの機種追加され、現行版は2012-09-04発行済み、次項の改正作業中	現行JISはISOの旧版2001年版に基づく(IDT)、ISOの2012年版をJISとして反映要も、後方超小旋回形、ロードホウルダンプなど日本の意見が反映されていない点をどう扱うか	JIS A 8308: 2003

ISO/TC 127/SC 4	ISO/DI S 6165	EMM — Basic types — Identification and vocabulary terms and definitions	土工機械— 基本機種— 識別及び語 彙用語及び 定義	2017年の定期見直しで改正意見が多かったため、柳州総会で検討のためのSC 4/WG 5をイタリアのCNH社のGarofani氏をコンビナー、作成日程36ヶ月として改正作業開始と決定し、2019年末にかけて論点整理のためSC 4/WG 5内意見聴取を実施し、日本は後方超小旋回形の追加を求め、その後、2020年7月16日にWeb会議で調整、CD案文投票(2020年12月4日期限)で満票で承認、意見多数提出され、それらを考慮したDIS投票(2021年8月7日期限)満票で承認、直接発行に進めるとし、ただし各国意見処理などWG 5意見聴取、次いで2022年3月3日のWG 5会議で調整、なお規格名称の補完要素はIdentification and vocabularyに修正の方向、またPL退任によりコンビナーがPL兼任となった		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6302: 1993	EMM -- Drain, fill and level plugs	土工機械— 排油、給油 及び点検用 プラグ	土工機械の排油、給油及び点検用プラグの諸元に関して規定、なお、2021-12-02期限の定期見直しでは「棄権」除く満票で「確認」	JISはISOを 当時のJIS様 式などにより 一部変更 (MOD)	JIS A 8913: 1991
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6392- 1: 1996	EMM -- Lubrication fittings -- Part 1: Nipple type	JIS : グ リースニッ プル ISO : 土工 機械—潤滑 フィッチン グ—第1 部 : ニッ プル	土工機械のニップル式の給油孔の諸元に関して規定、なお、2017-12-04期限の定期見直しでは大多数が「確認」であったが、「改正」意見もあったため、柳州総会で「確認」の旨、決議	JISはISOを 適用範囲拡 大など変更 (MOD)	B 1575: 2000
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6392- 2: 1996	EMM -- Lubrication fittings -- Part 2: Grease-gun nozzles	土工機械— 潤滑フィッ チング—第 2部 : グリ スガンノズ ル	土工機械のグリースガンの諸元に関して規定、なお、2017-03-08期限の定期見直しでは「棄権」及び1票だけあった「廃止」を除くと他の大多数の投票によって「確認」、現在2022-06-13期限で定期見直し中	JIS B 9808 グリースガ ンは、土工 機械への適 用に関して はISOと同 等	(B 9808: 1991)

ISO/TC 127/SC 2	ISO 6393: 2008	EMM -- Determination of sound power level -- Stationary test conditions	土工機械－ 音響パワー レベルの決 定－静的試 験条件	土工機械の静的条件での機械周 囲の音響パワーレベルの測定方 法を規定。(適用範囲を全機種へ 拡大及び別置きファン回転 70%)、改正では土工機械全機種 に適用範囲を拡大、なお2021年3 月4日期限の定期見直しでは大多 数の投票によって「確認」		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6394: 2008	EMM -- Determination of emission sound pressure level at operator's position -- Stationary test conditions	土工機械－ 運転員位置 における放 射音圧レベ ルの決定－ 静的試験条 件	土工機械の静的条件での運転員 耳元音圧レベルの測定方法を規 定。(適用範囲を全機種へ拡大及 び別置きファン回転70%)、改正 では土工機械全機種に適用範囲 を拡大、なお2021年3月4日期 限の定期見直しでは大多数の投 票によって「確認」		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6394: 2008 / Cor 1: 2009			引用規格に関する技術正誤表		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6395: 2008	EMM -- Determination of sound power level -- Dynamic test conditions	土工機械－ 音響パワー レベルの決 定－動的試 験条件	土工機械(全機種に適用拡大)の作 業模擬動作条件での機械周囲の 音響パワーレベルの測定方法を 規定。可変速ファンは例えば定 格の70%以上など規定、なお 2021年3月4日期限の定期見直 しでは大多数の投票によって「確 認」	ISO新版に 基づく (MOD)JIS改 正済み。附 属書での測 定のバラツ キの扱いだ けISOの Normativeを JISでは参考 に変更で MODとなっ ている	JIS A 8317- 1: 2010

ISO/TC 127/SC 2	ISO 6396: 2008	EMM -- Determination of emission sound pressure level at operator's position -- Dynamic test conditions	土工機械－運転員位置における放射音圧レベルの決定－動的試験条件	土工機械(全機種に適用拡大)の作業模擬動作条件での運転員耳元音圧レベル(騒音レベル)の測定方法を規定。可変速ファンは例えば定格の70%以上など規定、なお2021年3月4日期限の定期見直しでは大多数の投票によって「確認」	ISO新版に基づく(MOD)JIS改正済み。附属書での測定バラツキの扱いだけISOのNormativeをJISでは参考に変更でMODとなっている	JIS A 8317-2: 2010
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6396: 2008 / Cor 1: 2009			引用規格に関する技術正誤表		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6405-1: 2017	EMM -- Symbols for operator controls and other displays -- Part 1: Common symbols	土工機械－操縦装置及び表示用図記号－第1部：共通図記号	操縦装置や機器の表示に用いる絵文字シンボルで機種共通のものを規定、最新版ではWiFiやGPS、また、排ガス処理関係など多くの図記号追加、様式を最新の規定に基づくものにするなどしている、なお、2022-06-13期限で定期見直し中	ISO 6405-1: 2017に基づくJIS (ISOでは削除のシガライタ図記号残してMOD)改正発行済み	JIS A 8310-1: 2019
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6405-1:2017/ Amd 1: 2022	EMM — Symbols for operator controls and other displays — Part 1: Common symbols — Amendment 1: Additional symbols	土工機械－操縦装置及び表示用図記号－第1部：共通図記号 追補1	前回積残し案件などを広島総会時WGで検討、米国PL兼コンビナーと調整して日米提案に基づく追補開始をTC 127/SC 3のCIBで決定、第2部含め日程遅延のためCD省略を決議(2020年10月3日期限))して直接DAM投票(2021年3月31日期限)承認され、図記号を分野横断検討するISO/TC 145/SC 3(機器・装置用図記号)でのISO 7000への登録に関しては意見聴取し同委員会との連携関係設立のCIBによる承認を通じて、意見を同委員会に提出した。第1部DAM投票時各国意見をISO/TC 127/SC 3/WG 12内意見聴取で調整、FDAM投票(2021年11月25日期限)承認され、2022年1月に追補Amd 1発行された		

ISO/TC 127/SC 3	ISO 6405-2: 2017	EMM -- Symbols for operator controls and other displays -- Part 2: Symbols for specific machines, equipment and accessories	土工機械－操縦装置及び表示用図記号－第2部：特定機種、作業装置及び附属品図記号	操縦装置や機器の表示に用いる絵文字シンボルで特定機種・特定装置のものを規定、最新版では施工範囲など多くの図記号追加、様式を最新の規定に基づくものにするなどしている、なお、2022-06-13期限で定期見直し中	ISO 6405-1: 2017に基づくJIS(IDT)改正発行済み	JIS A 8310-2: 2019
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6405-2:2017/ Amd 1	EMM — Symbols for operator controls and other displays — Part 2: Symbols for specific machines, equipment and accessories — Amendment 1: Additional symbols	土工機械－操縦装置及び表示用図記号－第2部：特定機種、作業装置及び附属品図記号	第1部同様、積み残しなどについて追補1で扱い、業務進捗に関しては、ISO/TC 145/SC 3との連携含め第1部同様であるが(連携関係については、まとめて1件として投票)、第2部の案件処理としては直接DAM投票(2021年3月31日期限)に進めて承認され、各国意見をSC 3/WG 12内の意見聴取で調整し、FDAM投票(2021年12月1日期限)で承認され、ドリルの図記号に関して、ISO/TC 195/SC 3(穿孔及び基礎工事用機械)及びISO/TC 82(鉱山)にも適用可能である旨を付記し、また、機械式ショベルの名称に関してISO 6165などで規定の用語を適用するよう出版用案文を校正して2022年2月Amd 1発行された		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 6483: 1980	EMM -- Dumper bodies -- Volumetric rating	JIS：土工機械－ダンプトラック－第4部：荷台の定格容量 ISO：土工機械－ダンプトラック荷台一定格容量	ダンプトラック荷台の平積容量及び山部の容積による定格容量の算出方法を規定、2021-09-03期限の定期見直しでは、大多数の投票により「確認」	ISOに基づく(IDT)JIS	JIS A 8422-4: 1998
ISO/TC 127/SC 1	ISO 6483: 1980/ Cor 1: 1994			JISではISO正誤表も含む		

ISO/TC 127/SC 1	ISO 6484: 1986	EMM -- Elevating scrapers -- Volumetric ratings	土工機械－ エレベ－ ティングス クレーパー 定格容量	エレベ－ティングスクレーパボ ウルの平積容量及び山部の容積 から定格容量算出方法規定、 2018-12-04期限 の定期見直しでは、この種機械 が例外的な日本は棄権したが、 棄権を除く満票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 6485: 1980	EMM -- Tractor-scraper -- Volumetric rating	JIS：土工 機械－スク レーパー第 3部：ボウ ルの定格容 量、ISO： 土工機械－ 自走式スク レーパー定 格容量	スクレーパボウルの平積容量及 び山部の容積から定格容量の算 出方法を規定、2021-09-03期限の 定期見直しでは、棄権を除く満 票で「確認」	ISOに基づ く (IDT)JIS	JIS D 0004- 3: 1998
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6682: 1986	EMM -- Zones of comfort and reach for controls	土工機械－ 操縦装置の 操作範囲及 び位置	運転員が着座した状態における 操縦装置の操作範囲及び位置(最 適操作範囲及び到達操作範囲)を 規定、2017-03-06期限の定期見直 しでは一部「改正」意見もあっ たが大多数の投票によって「確 認」、現在2022-06-13期限で定期 見直し投票中	ISOに基づ く (MOD)JIS では日本人 の体系を考 慮した備考 を追記	JIS A 8407: 2000
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6682: 1986 / Amd 1: 1989			JISではISO追補も含む		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 6683: 2005	EMM — Seat belts and seat belt anchorages — Performance requirements and tests	土工機械－ シートベル ト及びその 取付部－性 能要求事項 及び試験方 法	ROPS、TOPSをもつ機械の運転 員などを拘束するシートベルト 及びその取付部に対する性能要 求事項及び試験方法について規 定、2013年の定期見直しでは 「確認」(SC 2 N 1076)であつた が、その後、次項に示す「改 正」作業開始	ISOに基づ く (IDT)JIS、 JISの誤記に つい訂正要 (負荷後の除 荷など)	JIS A 8911: 2007

ISO/TC 127/SC 2	ISO/DIS 6683	EMM — Seat belts and seat belt anchorages — Performance requirements and tests	土工機械—シートベルト及びその取付部—性能要求事項及び試験方法	ISO/TC 127/SC 2/WG 30(コンビナー兼PLはイタリア国立労働災害保険協会INAILのVITA氏)で、ISO 6683の 1)試験負荷、2) 多点式、3) 取付部について意見を求め、2018年にWG会合、柳州総会でPWIとし、イタリアがNP提案、2019年2月ローマ会議で検討後、9月にNP承認、WD 6683として検討、座席質量評価も検討、同年12月にWeb会議など実施、座席とベルト取付部との関係検討要と指摘、CD案文は2020年7月8日期限で投票、多数賛成で承認も意見も多く、Web会議で検討、他に懸架装置なしの座席で床に取付の場合は座席調節に応じてSIP移動(TSIP)との論議もあり(2021年4月13日、5月12日のWeb会議)、WG 30で意見調整(2021年9月30日期限)、DIS投票(2021年12月30日期限)承認され、2022年4月4日に会合するなどして更に調整中		
ISO/TC 127/SC 4	ISO 6746-1: 2003	EMM -- Definitions of dimensions and codes -- Part 1: Base machine	土工機械—寸法及びコードの定義—第1部：本体	機械本体の寸法に関する用語及びコードについて規定、2019-09-03期限の定期見直しでは、棄権を除く満票で「確認」	ISOに基づく(IDT)JIS、JISの誤記についてL2を軸居に訂正要	JIS A 8411-1: 2006
ISO/TC 127/SC 4	ISO 6746-2: 2003	EMM -- Definitions of dimensions and codes -- Part 2: Equipment and attachments	土工機械—寸法及びコードの定義—第2部：作業装置	機械の作業装置の寸法に関する用語及びコードについて規定、2019-09-03期限の定期見直しでは、棄権を除く満票で「確認」	ISOに基づく(IDT)JIS	JIS A 8411-2: 2006
ISO/TC 127/SC 4	ISO 6746-2: 2003 / Cor 1: 2004			附属書Aを規定から参考に訂正する正誤表	JISもISO整合の点では正誤表発行要ではあるが優先度は高くないと思われる	



ISO/TC 127/SC 4	ISO 6747: 2013	EMM -- Dozers -- Terminology and commercial specifications	JIS：土工 機械－トラ クタドーザ －第1部： 用語及び仕 様項目 ISO：土工 機械－ドー ザ－用語及 び仕様項目	自走式の車輪式及び履帯式のトラクタドーザとその作業装置について用語及び商用仕様項目について規定、2013年版は様式、規格名称などを日本担当で見直し、2018-06-06期限の定期見直しでは一部「改正」意見もあったが大多数の投票によって「確認」	JISは旧版に基づくので、ISO整合化の点では新版に基づく改正要であるが、ブルドーザの製造業者が1社だけとなったため、優先度の点ではどうかという問題がある	JIS A 8420- 1: 2002
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6749: 1984	EMM -- Preservation and storage	土工機械－ 劣化防止及 び保管	土工機械の保存と保管に関する方法などを規定、2016-09-15期限の定期見直しでは、大多数「確認」も一部「改正」との意見もあったので、広島総会で検討し、「確認」の旨、決議	ISOに基づ く (IDT)JIS	JIS A 8347: 2004
ISO/TC 127/SC 3	ISO 6750- 1: 2019	EMM — Operator's manual — Part 1: Contents and format	土工機械－ 取扱説明書 －第1部： 内容及び様 式	取扱説明書に関する共通のルールを指針として規定、農業機械のISO 3600改正にならない、規定を最新化、スウェーデンのOLSSON氏をPL兼ISO/TC 127/SC 3/WG 13コンビナーとして改正作業、CD 6750-1承認後、2018年1月29日、30日にロンドンのBSIでWG会合を開催、日本からはコマツの専門家が出席して各国意見調整してDIS投票に進められ、2018年11月19日期限で投票承認され、2019年2月のローマWG会議でDISに対する各国意見調整、それを反映したFDIS承認されて2019年10月29日発行済み。なお、参考文献のリストを独立の第2部としたので、第1部と付番した。	現行JIS A 8334:2006は ISO 6750:2005に 基づく (IDT)JISで あるが、 ISO 6750-1 発行に伴い JIS改正原案 を支援元の JSAに作成 提出	廃止 のISO 6750 対応 JIS A 8334: 2006

ISO/TC 127/SC 3	ISO/TR 6750-2: 2021	EMM — Operator's manual — Part 2: List of references	土工機械—取扱説明書—第2部：参照文献リスト	取扱説明書で説明すべき規定項目のある規格のリストを記載する技術報告書で、2020年1月末に初版発行されたが、この第2部は、多数の参照文献の改正などを反映要で、頻繁な改正が必要のため、2020年10月14日にISO/TC 127/SC 3/WG 13はWeb会合して、早急に改正することとして親委員会ISO/TC 127/SC 3に決議を求め、CIB(2020年11月26日期限)にて承認の結果、12月1日にWG 13会合して検討、それに基づきISO/DTR 6750-2を投票(2021年2月20日期限)に付し、満票で承認され、その際に各国意見が少数提出されたので、2021年3月8日の短時間のWeb会議で検討して、それら意見を考慮した修正のうえ、最終的に2021年5月に改正版発行された。		
ISO/TC 127/SC 3	ISO/W DTR 6750-2	EMM — Operator's manual — Part 2: List of references	土工機械—取扱説明書—第2部：参照文献リスト	前述のごとく、頻繁な改正要のため、2021年10月5日にWG会合して、次の改正を進めることとし、今後、DTR(CD段階)に進めることとしている		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/W D 7021	EMM and machinery for forestry — Operator protective structures — Material performance requirements	土工機械及び林業用機械—運転員保護装置—材料性能要求事項	保護構造に使用する鋼材などに関する要求事項の標準化で、米国斗山Bobcat社のNEVA氏をコンビナー、同Caterpillar社の専門家をPL候補として、新業務提案され、投票(2021年5月6日期限)承認されISO/TC 127/SC 2/JWG 31 で検討開始された(2021年11月16日・17日及び2022年2月2日・3日、4月13日・14日にWeb会合)、なお、SC 2/AG 1(運転員保護構造の規格の整合化)の活動とも関連、鋼材以外のポリカーボネートの扱いは今後の可能性とする方向		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 7096: 2020	EMM — Laboratory evaluation of operator seat vibration	土工機械— 運転員の座 席の振動評 価試験	各機種の運転員座席振動伝達特 性ベンチ試験方法・許容基準を 規定する規格で最新版はドイツ の座席メーカーGrammer社の専門 家がISO/TC 127/SC 2/WG 23のコ ンビナー兼PLとして作業、日本 は参画利益見込めずとして1社し かデータ提出せず(提出先は秘匿 性を考慮して中立機関のドイツ 法的損害保険DGUVの労働安全 研究機関IFAの研究者宛)、重ダ ンプトラック及びホイールロー ダなどは入力パワースペクトル 密度分布尖頭を低周波数側にず らす方向も、十分なデータが集 まらず、日本は反対もCD省略し データが集まった部分だけ反映 としてDIS承認され、次いでFDIS 投票(2020年1月9日期限)の結果承 認され、2020年2月に改正発行さ れた。	ISO 旧版 (2000年版) に基づく (IDT)JIS	JIS A 8304: 2001
ISO/TC 127/SC 3	ISO 7129: 1997	EMM -- Cutting edges used on tractor-dozers, graders and scrapers -- Principal shapes and basic dimensions	JIS : カッ ティング エッジの形 状及び寸法 ISO : 土工 機械—トラ クタドー ザ、グレー ダ及びスク レーパの カッティ ングエッジ 主要形状及 び寸法	ドーザ、グレーダ、スクレーパ のカッティングエッジの基本形 状並びに断面寸法、ボルト取付 穴位置及び形状を互換性に配慮 して規定、2018-09-03期限の定期 見直しでは、一部の廃止との意 見除く大多数の投票で「確認」	ISOに基づ く(MOD)JIS	JIS D 6101: 1994
ISO/TC 127/SC 3	ISO 7130: 2013	EMM -- Operator training -- Content and methods	土工機械— 運転員教育 —内容及び 手法	機械の運転員教育の内容及び方 法の基礎となる部分を規定す る、2018-09-05期限の定期見直し では、棄権を除く満票で「確 認」		

ISO/TC 127/SC 4	ISO 7131: 2009	EMM -- Loaders -- Terminology and commercial specifications	JIS：土工 機械－ロー ダ－第1 部：用語及 び仕様項目 ISO：土工 機械－ロー ダ－用語及 び仕様項目	自走式の車輪式及び履帯式の ローダ並びにその作業装置の用 語及び商用仕様項目について規 定、2021年3月4日期限で定期見 直し、日本は機関出力の表示の 参照規格に関する問題から改正 投票だったが、大多数の投票で 「確認」	JISはISOの 旧版に基づ く(IDT)の で、整合化 の点では追 補含め、最 新版に基づ く改正要、 ただし、優 先度はどの 程度か	JIS A 8421- 1: 1998
ISO/TC 127/SC 4	ISO 7131: 2009 / Amd 1: 2017			ミニローダ及びスキッドステア ローダの定義を実情に合わせて 修正する追補で、特段の反対な く、各国賛成で承認され追補発 行された		
ISO/TC 127/SC 4	ISO 7132: 2003	EMM -- Dumpers -- Terminology and commercial specifications	JIS：土工 機械－ダン パ(重ダン プトラック 及び不整地 運搬車)－ 第1部：用 語及び仕様 項目 ISO：土工 機械－ダン パー用語及 び仕様項目	ダンパ(重ダンプトラック及び不 整地走行車)の用語及び商用仕様 項目について規定、2020-12-03期 限の定期見直しでは、「棄権」 除く満票で「確認」	ISOに基づ く(MOD)JIS で、不整地 運搬車に関 する記述を 適正化	JIS A 8422- 1: 2010
ISO/TC 127/SC 4	ISO 7132: 2003 / Amd 1: 2018			日本担当で、不整地運搬車の図 の修正などの追補、DAMは満票 で承認、各国意見に対して図を 更に改善するなどしたFDAmd 1 承認され追補発行済み	むしろJISで ISOから修 正を加えた 点がAmd 1 に反映され ている	

ISO/TC 127/SC 4	ISO 7133: 2013	EMM -- Scrapers -- Terminology and commercial specifications	JIS：土工 機械－スク レーパー第 1部：用語 及び仕様項 目、 ISO：土工 機械－スク レーパー用 語及び仕様 項目	自走式スクレーパ及びその作業 装置の用語及び商用仕様項目に ついて規定、様式の見直しなど 改正され2013年発行済み、2018- 06-04期限の定期見直しでは、一 部の改正との意見もあったが大 多数の投票で「確認」、なお、 日本はこの機種の使用が例外的 となっていることから「棄権」	ISO旧版 (1993年)に 基づく JIS(IDT)、 スクレーパ が国内では 例外的と なったた め、JIS改正 の優先度は 低そう	JIS D 0004- 1: 1998
ISO/TC 127/SC 4	ISO 7134: 2013	EMM -- Graders -- Terminology and commercial specifications	JIS：土工 機械－グ レーダー第 1部：用語 及び仕様項 目、 ISO：土工 機械－グ レーダー用 語及び仕様 項目	自走式グレーダ及びその作業装 置の用語及び商用仕様項目につ いて規定、2018-06-04期限の定期 見直しでは、一部の「改正」と の意見もあったが大多数の投票 で「確認」(次回会合で意見検討 となっていたが、その後、特段 の論議なし)	ISO旧版 (1993年)に 基づく JIS(IDT)、 改正要では あるが、優 先度はどう か？	JIS A 8423- 1: 1998
ISO/TC 127/SC 4	ISO 7135: 2009	EMM -- Hydraulic excavators -- Terminology and commercial specifications	JIS：土工 機械－油圧 ショベルー 第1部：用 語及び仕様 項目、 ISO：土工 機械－油圧 ショベルー 用語及び仕 様項目	自走式の車輪式及び履带式油圧 ショベル並びにその作業装置の 用語及び商用仕様項目について 規定、2020-06-03期限の定期見直 しでは、「棄権」除く満票で 「確認」	JISはISOの 旧版に基づ く(MOD)と いうより参 考程度であ るが、新版 発行により ミニショベ ルの定義の 差異などの 問題が生 じ、改正要 ではある が、かなり の調整要と 思われる	JIS A 8403- 1: 1996

ISO/TC 127/SC 4	ISO 7135: 2009 / Amd 1			<p>後方超小旋回形油圧ショベルの用語及び定義追加(追補)に関する日本提案、PLをコベルコ建機及び日立建機の専門家などが引継いで担当、日本のミニ～小形油圧ショベルに多い(ミニでは大半)後方超小旋回形(機械後方が車幅の120%以内で旋回可能)の定義追加であるが、既に定義済みの超小旋回形との差異について各国の十分な理解を得られず、いったん取下げ後、2015年9月のTC 127ラハイナ総会で再開の方向で説明、その後、新業務提案承認されて、CD段階から再開、DIS投票の結果承認されたが、その際の一部意見を反映したFDAMが2019年1月28日期限で投票承認され、同年3月に発行された。</p>	上記参照	
ISO/TC 127/SC 4	ISO 7136: 2006	EMM -- Pipelayers -- Terminology and commercial specifications	土工機械－ パイプレー ヤー用語及 び仕様項目	<p>自走式パイプレーヤ及びその作業装置の用語及び商用仕様項目について規定、2019-09-03期限の定期見直しでは、一部の「改正」との意見もあったが大多数の投票で「確認」</p>		
ISO/TC 127/SC 4	ISO/A WI 7334	EMM — Taxonomy and definitions for terms related to automated and autonomous machines	土工機械－ 自動及び自 律式機械に 関する分類 及び用語の 定義	<p>ISO/TC 127/SC 2/WG 24(機械制御系の機能安全)の論議で、自動運転を分類する必要があるとされて、ISO/TC 127/SC 4の新業務提案として投票(2021年6月7日期限)承認され、国際作業グループISO/TC 127/SC 4/WG 6(分類)を設立して検討することとなり(米国Deere社のTAHA氏がコンビナー)、2022年2月9日、3月16日、30日、31日にウェブ会合して検討中</p>		

ISO/TC 127/SC 1	ISO 7451: 2007	EMM -- Volumetric ratings for hoe- type and grab- type buckets of hydraulic excavators and backhoe loaders	JIS：土工 機械－油圧 ショベル－ 第4部：バ ケット定格 容量、 ISO：土工 機械－油圧 ショベル及 びバックホ ウローダの ハウバケッ ト及びクラ ムシエルバ ケット定格 容量	油圧ショベルバケットの平積容 量及び山部の容積による定格容 量の算出方法を規定、2021-09-03 の定期見直しでは、「棄権」除 く満票で「確認」	ISO最新版 に基づくJIS 改正発行済 み	JISA 8403- 4: 2012
ISO/TC 127/SC 1	ISO 7457: 1997	EMM -- Determination of turning dimensions of wheeled machines	土工機械－ ホイール式 機械の回転 半径測定方 法	作業装置を装着したホイール式 機械が平坦路面で回転するとき の回転直径、半径、機械最外側 回転直径、タイヤ最内側及び最 外側の回転直径を定める方法を 規定、2018-12-04期限の定期見直 しでは、一部の「改正」との意 見もあったが大多数の投票で 「確認」	ISOに基づ くIDT)JIS	JIS A 8303: 1998
ISO/TC 127/SC 1	ISO 7464: 1983	EMM -- Method of test for the measurement of drawbar pull	土工機械－ けん引力測 定方法	作業機を装着又はけん引した、 積荷又は空荷の自走式機械のけん 引力測定方法を規定、定期見 直し投票(2020年12月2日期限)の 結果、「棄権」除く満票で「確 認」	ISOに基づ くIDT)JIS	JIS A 8309: 1993
ISO/TC 127/SC 1	ISO 7546: 1983	EMM -- Loader and front loading excavator buckets -- Volumetric ratings	JIS：土工 機械－ロー ダ－第3 部：バケッ ト定格容量 ISO：土工 機械－ロー ダ及びフロ ントロー ディング ショベルの バケット－ 定格容量	ローダ及びフロントローディン グ式バケットの平積容量及び山 部の容積による定格容量の算出 方法を規定、定期見直し投票 (2020年12月2日期限)の結果、 「棄権」除く満票で「確認」	ISOに基づ くIDT)JIS	JIS A 8421- 3: 1998

ISO/TC 127/SC 3	ISO 7852: 1983	EMM -- Plough bolt heads -- Shapes and dimensions (excluding thread dimensions)	土工機械－ プラウボルト 頭部の形状 及び寸法	皿ボルト頭部の形状及び寸法(ねじ部寸法を除く)を規定、2021-12-03期限の定期見直しでは、「棄権」除く満票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 8152: 1984	EMM -- Operation and maintenance -- Training of mechanics	土工機械－ 運転及び整備 －整備員の 教育	整備員の教育訓練について規定、2021-12-03期限の定期見直しでは、一部「改正」、「廃止」との意見もあったが、「棄権」除く多数の投票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 8643: 2017	EMM -- Hydraulic excavator and backhoe loader lowering control device -- Requirements and tests	ISO旧版に 基づく JIS：土工 機械－油圧 ショベル又は バックホウ ローダのブ ーム降下制 御装置－性 能基準及び 試験方法 ISO改正 版：土工機 械－油圧 ショベル又 はバックホ ウローダの 降下制御装 置－要求事 項及び試験 方法	油圧ショベルなどによる荷扱いの際に、万一油圧配管に損傷が生じた場合などでも作業機の急激な降下を防止する油圧ショベルのブーム降下制御装置の要求事項及び試験方法を、アームも対象とする改正新版で、ISO/TC 127/SC 1/WG 10(PL兼コンビナーは亡くなられたイタリアの専門家)で検討、国内的にはクレーン仕様のショベルが対象であるため、専門家を派遣して、日本に不都合な方向とならないよう参画を図り、最終的にFDIS投票には日本は一部問題ありとして反対も、賛成大多数で承認され、改正発行され、現在2022-06-13期限で定期見直し中	ISOの新版に基づくJIS改正原案作成し、(作成事業を支援の)規格協会に提出、今後、大臣申し出を経て、大臣名での早期発行を期待、新版では規格名称も見直し	JIS A 8321: 2001
ISO/TC 127/SC 4	ISO 8811: 2000	EMM -- Rollers and compactors -- Terminology and commercial specifications	土工機械－ 締固め機械 －用語及び 仕様項目	ローラなど締固め機械の用語及び商用仕様項目について規定、2018-06-04期限の定期見直しでは、「確認」の方が「改正」よりも多かったが(SC 4 N 641)、柳州総会で、日本の事務局がコンビナー、米国の専門家をPLとして予備業務として改正を進めることとなったので投票結果に関わらず「改正」	ISOに基づく(MOD)JISで、一部不適切な箇所を適正化	JIS A 8424: 2003



ISO/TC 127/SC 4	ISO 8811: 2000 / Cor 1: 2002				JISには反映	
ISO/TC 127/SC 4	ISO/ AWi 8811	EMM -- Rollers and compactors -- Commercial specifications	土工機械－ 締固め機械 －仕様項目	もともと日本担当、DIS承認も DIS二次案文作成に時間を要し いったんキャンセル、日本の メーカーの履帯(駆動)式ローラ、振 動タイヤローラ、海外メーカーの 多角形ローラなどの形式追加を 図っており、再開の方向で検 討。柳州総会では、米国 Caterpillar社の専門家をPLとし、 ただし、SC 4/WG 3コンビナーは 引き続き日本担当として予備業 務として再開することを決定し た。PLと連絡をとって再開する こととし、以前の案文の規格名 称だけ修正した再度のNP提案が 投票(2022年1月12日期限)の結果 承認されて、今後改正作業を進 めることとなった		
ISO/TC 127/SC 4	ISO 8812: 2016	EMM -- Backhoe loaders -- Terminology and commercial specifications	土工機械－ バックハウ ローダー－用 語及び仕様 項目	バックハウローダの用語及び商 用仕様項目について規定、様式 の見直しなどについて(日本は一 部の編集上の誤記、図の誤りな などを指摘)2016年に改正発行済 み、2021年2021年9月2日期限で 定期見直し、日本は機関出力の 表示の参照規格に関する問題か ら「改正」投票だったが、大多 数の投票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 8813: 1992	EMM -- Lift capacity of pipelayers and wheeled tractors or loaders equipped with side boom	土工機械－ パイプレー ヤ及びサイ ドブームを 持つホイー ルトラクタ 及びローダ ー吊上げ能 力	パイプレーヤ及びサイドブーム を持つホイール式のトラクタ及 びローダの吊り上げ能力の算出 方法を規定、2019-12-02期限の定 期見直しでは、一部「改正」と の意見もあったが、大多数の投 票で「確認」		

ISO/TC 127/SC 3	ISO 8925: 1989	EMM -- Diagnostic ports	土工機械－ 診断用測定 口	機械の液体システムの液温、液 圧、流量などの測定又はサンプ ル採取に用いる診断用ポートの 寸法、形式、近づき易さなどを 規定、2021-12-03期限の定期見直 しでは、一部「改正」、「廃 止」との意見もあったが、「棄 権」除く多数の投票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 8925: 1989 / Amd 1: 1997		上記の追補 修正			
ISO/TC 127/SC 3	ISO 8927: 1991	EMM -- Machine availability -- Vocabulary	土工機械－ アベイラビ リティー用 語	機械のアベイラビリティに関す る用語及び定義を規定、2018-03- 07期限の定期見直しでは、一部 「改正」との意見もあったが、 大多数の投票で「確認」		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 9244: 2008	EMM -- Machine safety labels -- General principles	土工機械－ 機械安全ラ ベル－通則	新版：機械の安全標識のデザイ ン及び適用のための通則及び要 求事項を規定 旧版：安全標識及び危険表示図 記号のデザイン及び適用のため の通則を規定 2008年版は、2022-03-13期限の定 期見直しでは少数の「棄権」を 除くと全て「確認」投票であっ た（幹事国の処理は未配布）	新版及び追 補に基づく 見直しのた め、JIS改正 発行された	JIS A 8312: 2021
ISO/TC 127/SC 2	ISO 9244: 2008 / Amd 1: 2016			禁止の図記号などに関する修正 の追補提案で、日本の図記号の 専門家はx印は「否定」であっ て、「禁止」とするのは不適切 との意見であったが、結局追補 成立し、日本の製造業各社もそ れにならう方向である	上記参照	
ISO/TC 127/SC 4	ISO 9245: 1991	EMM -- Machine productivity -- Vocabulary, symbols and units	土工機械－ 機械の生産 性－用語、 記号及び単 位	機械の生産性を測定し表示する 際に用いる用語、定義、記号、 単位を規定、2019-09-02の定期見 直しでは、「棄権」除く満票で 「確認」		

ISO/TC 127/SC 1	ISO 9246: 1988	EMM -- Crawler and wheel tractor dozer blades -- Volumetric ratings	土工機械－ クローラ式 及びホイール 式トラクタ ドーザの 土工板一定 格容量	ドーザのブレードの作業容量の 算定方法を規定、定期見直し投 票(2020年12月2日期限)の結果、 「確認」が満票(「棄権」除く) で、「確認」		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 9247: 1990	EMM -- Electrical wires and cables -- Principles of identification and marking	土工機械－ 電線及び ケーブル 識別の原則	機械の電気回路に用いる電線及 びケーブルの識別コードの原則 を規定、2021-12-03期限の定期見 直しでは、一部「改正」意見 と、かなりの「棄権」を除く大 多数の意見で「確認」		JIS A 8324: 2001
ISO/TC 127/SC 3	ISO 9247: 1990 / Amd 1: 1998		上記の追補 修正	JISではISO追補も含む		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 9248: 1992	EMM -- Units for dimensions, performance and capacities, and their measurement accuracies	土工機械－ 寸法、性能 及び容量の 単位並びに 測定の正確 さ	機械の寸法、性能及び容量の測 定に用いる単位、記号並びに測 定精度について規定、2018-12-04 期限の定期見直しでは、一部 「改正」意見もあったが大多数 の意見で「確認」		JIS A 8322: 2001
ISO/TC 127/SC 1	ISO 9249: 2007	EMM -- Engine test code -- Net power	ISO : 土工 機械－機関 試験方法－ ネット出力 JIS : 土工 機械－機関 －第1部： ネット出力 試験方法	機関ネット出力に関する共通的 な規格ISO 15555(JIS B 8003)を参 照、2018-12-04期限の定期見直し では、一部「廃止」との意見及 びかなりの「棄権」もあったが 他の大多数の意見で「確認」	ISO新版に 基づく JIS D 0006-1改正 発行済み	JIS D 0006- 1: 2010
ISO/TC 127/SC 4	ISO/TS 9250- 1: 2012	EMM -- Multilingual listing of equivalent terms -- Part 1: General	土工機械－ 同等用語の 多言語リス ト－第1 部：一般	複数言語での一般用語リスト、 2012年版では中国語版追加、 2020-09-02期限の定期見直しで は、数件の「改正」意見もあっ たが大多数の意見で「確認」		

ISO/TC 127/SC 4	ISO/TS 9250-2: 2012	EMM -- Multilingual listing of equivalent terms -- Part 2: Performance and dimensions	土工機械－同等用語の多言語リスト－第2部：性能及び寸法	複数言語での性能及び寸法に関する用語リスト、2012年版では中国語版追加、2020-09-02期限の定期見直しでは、一部「改正」意見もあったが大多数の意見で「確認」		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 9533: 2010	EMM -- Machine-mounted audible travel alarms and forward horns -- Test methods and performance criteria	土工機械－機械装着警報ブザー類及び警音器－試験方法及び性能基準	機械の前後進時の周囲の人への警笛(法令では「ブザー等」)及び走行方向へのホーン(法令では「警音器」)の音響性能を評価するのに必要な手法及び判定基準を規定、2020-12-03期限の定期見直しでは、一部「改正」意見もあったが大多数の意見で「確認」	ISO新版に基づきJIS改正済み(MOD)、規格名称は法令用語と整合するよう修正	JIS A 8327: 2017 (MOD)
ISO/TC 127/SC 3	ISO 10261: 2021	EMM — Product identification numbering system	土工機械－製品識別番号(PIN)	個別の土工機械を識別するための17桁の製品識別番号PINの構成要素である3桁の世界製造業者コードWMCの登録機関RAを、ISO/TC 127国際議長から米国の機器製造業者協会AEMに移管するための、軽微な改正を実施する方向で決議案投票(2020年10月9日期限)で承認であったが、ISOの規定(ISO/IEC専門業務指針)の関係上、ISOに設定されたRAにたどり着くためのURLの変更不可とのことで、規定に沿った改正となるよう、ISOの登録機関設定サイトにアップする内容含め調整し、FDIS投票に進めるため、所要の書式を整えてISO中央事務局に提出し、投票承認されて改正発行済み	現行JIS A 8313はISOの旧版に基づくので、今後JIS改正原案作成を規格協会さんのご支援を得て実施したいところ	JIS A 8313: 2001 は旧 2002 年版に基づく (IDT)
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10262: 1998	EMM -- Hydraulic excavators -- Laboratory tests and performance requirements for operator protective guards	土工機械－油圧ショベル－運転員保護ガードの試験及び性能要求事項	油圧ショベルの上部乃至前方から運転席に侵入しようとする物体から運転員を合理的な範囲で保護するためのガードの評価のための再現可能な試験方法及び性能要求事項を規定、2020-12-03期限の定期見直しでは、一部「改正」意見もあったが大多数の意見で「確認」		JIS A 8922: 2001

ISO/TC 127/SC 2	ISO 10262: 1998 / Cor 1: 2009		(技術正誤 表)	(誤記訂正など)	JISの訂正の 要否を要確 認	
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10263- 1: 2009	EMM -- Operator enclosure environment -- Part 1: Terms and definitions	ISO旧版に 基づく JIS：土工 機械－運転 室内環境－ 第1部：用 語 ISO新版： 土工機械－ 運転室内環 境－第1 部：用語及 び定義	ISO 10263は運転室内環境の評価 に関する試験方法及び基準を規 定。パート1は共通事項として用 語を定義、2020-03-03期限の定期 見直しでは、一部「改正」意見 もあったが大多数の意見で「確 認」	JIS A 8330-1 はISO旧版 対応	JIS A 8330- 1: 2004
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10263- 2: 2009	EMM -- Operator enclosure environment -- Part 2: Air filter element test method	ISO旧版に 基づく JIS：土工 機械－運転 室内環境－ 第2部：空 気ろ過試験 ISO新版： JIS：土工 機械－運転 室内環境－ 第2部：空 気ろ過エレ メント試験 方法	パート2は、新鮮外気導入システ ムに用いるパネル式のエアフィ ルタの試験方法を規定、ISO新版 では日本が採用を主張した方法 を参考記述、定期見直し(2020年 3月3日期限)で、第2部は、改正 との意見もあり未決着	JIS A 8330-2 は、ISO旧 版に基づく	JIS A 8330- 2: 2004
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10263- 3: 2009	EMM -- Operator enclosure environment -- Part 3: Pressurization test method	土工機械－ 運転室内環 境－第3 部：運転室 加圧試験方 法	パート3は、運転室を加圧するシ ステムを用いた場合の内部の加 圧状態を試験する方法を規定、 2020-03-03期限の定期見直し では、一部「改正」意見もあつた が大多数の意見で「確認」	JIS A 8330-3 は、ISO旧 版に基づく	JIS A 8330- 3: 2004

ISO/TC 127/SC 2	ISO 10263- 4: 2009	EMM -- Operator enclosure environment -- Part 4: Heating, ventilating and air conditioning (HVAC) test method and performance	ISO旧版に 基づく JIS：土工 機械—運転 室内環境— 第4部：運 転室換気、 暖房及び/ 又は空気調 和試験方法 ISO新版： 土工機械— 運転室内環 境—第4 部：運転室 暖房、換気 及び空気調 和(HVAC) 試験方法及 び性能	エアコン、ヒータ、換気装置を 備えた機械の運転室内の温度、 湿度を測定する方法を規定、定 期見直し(2020年3月3日 期限で、第4部は、改正との 意見もあり未決着	JIS A 8330-4 は、ISO旧 版対応、な お改正新版 の小形機械 への適用可 能性は現実 的か？	JIS A 8330- 4: 2004
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10263- 5: 2009	EMM -- Operator enclosure environment -- Part 5: Windscreen defrosting system test method	土工機械— 運転室内環 境—第5 部：前面窓 ガラスデフ ロスタ試験 方法	運転室及び窓のデフロスタを備 えた機械で、窓のデフロスタ性 能を測定する試験方法を規定、 定期見直し(2020年3月3日 期限)で、第5部は、改正との 意見もあり未決着	JIS A 8330-5 は、ISO旧 版対応	JIS A 8330- 5: 2006
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10263- 6: 2009	EMM -- Operator enclosure environment -- Part 6: Determination of effect of solar heating	土工機械— 運転室内環 境—第6 部：運転室 日照負荷決 定方法	運転室に対する日照負荷を、 ヒートランプを用いテストルー ムで模擬して、輻射熱エネルギー を与える試験方法を規定、2020- 03-03期限の定期見直しでは、 「棄権」除く満票で「確認」	JIS A 8330-6 は、ISO旧 版対応	JIS A 8330- 6: 2006

ISO/TC 127/SC 2	ISO 10264: 1990	EMM -- Key- locked starting systems	土工機械－ キーロック 始動装置	機械を許可なしに始動する事を 妨げるためのキーロック式始動 装置の性能要求事項及び位置を 規定、2018-06-04の定期見直しで は、「改正」との数件の意見も あったが大多数の意見で「確 認」、具体的なNPが未だ提案さ れていないが、電子化に配慮要 と思われる		JIS A 8345: 2004
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10265: 2008	EMM -- Crawler machines -- Performance requirements and test procedures for braking systems	土工機械－ 履带式機械 －制動装置 の性能要求 事項及び試 験方法	走行速度20 km/h以下の履带式機 械の主制動装置、二次制動装置 及び駐車制動装置の性能基準及 び試験方法を規定、2018-12-03期 限の定期見直しでは、「棄権」 除く満票で「確認」	ISO新版に 基づく JIS A 8325改正発 行済み	JIS A 8325: 2010
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10266: 1992	EMM -- Determination of slope limits for machine fluid systems operation -- Static test method	土工機械－ 機械の流体 系統動作の 傾斜限界の 測定－静的 試験方法	機械のパワートレイン、エンジ ン、燃料系統、潤滑系統などの 作動上の傾斜限界の静的試験方 法を規定、2018-12-03期限の定期 見直しでは、「棄権」除く満票 で「確認」		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10268: 1993	EMM -- Retarders for dumpers and tractor-scrapers -- Performance tests	土工機械－ ダンパ及び 自走式スク レーパのリ ターダー性 能試験	リターダを備えたダンプトラッ クやスクレーパの連続使用時リ ターダ能力の試験方法を規定、 2021-09-02期限の定期見直しで は、日本はJISでの技術的変更の 経緯から「改正」の旨投票も、 他の各国の投票で「確認」	JIS A 8329 では、試験 時周囲温度 条件を要求 事項から推 奨事項に変 更している (MOD)	JIS A 8329: 2005
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10532: 1995	EMM -- Machine- mounted retrieval device -- Performance requirements	土工機械－ 機械装着救 出装置－性 能要求事項	機械の備える引揚げ具(フックな ど)で容量1 000 000 N以下のもの の性能要求事項を必要により実 施の確認試験を含め規定、2021- 09-02期限の定期見直しでは、一 部「改正」の意見もあったが、 大多数の投票で「確認」		JIS A 8331: 2005
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10532: 1995 / Amd 1: 2004			日本担当で本体にワイヤがけの ケースについて修正提案		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 10533: 1993	EMM -- Lift- arm support devices	土工機械－ リフトア－ ム支持具	ローダなどでリフトアームを整 備などのため持ち上げて保持す る際の支持具の性能要求事項及 び試験方法を規定、2019-06-05期 限の定期見直しでは、一部「改 正」の意見もあったが、大多数 の投票で「確認」		JIS A 8328: 2003
ISO/TC 127/SC 2	ISO 10533: 1993 / Amd 1: 2005					
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10567: 2007	EMM -- Hydraulic excavators -- Lift capacity	土工機械－ 油圧ショベ ル－吊上能 力	油圧ショベルの吊り上げ能力の 算定方法及び確認試験について 規定、2018-12-03期限の定期見直 しでは、「棄権」除く満票で 「確認」、日本は法令抵触の懸 念あるため「棄権」		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 10570: 2004	EMM -- Articulated frame lock -- Performance requirements	土工機械－ 車体屈折フ レームの固 定装置－性 能要求事項	屈折式のフレームを持つ機械で 整備の際などに不意に屈折する のを防止するためのロック装置 の性能要求事項を規定、定期見 直し(2019年12月2日期限)の結 果、、「棄権」除く満票で「確 認」であるが、ISOデータに未反 映	JISはDIS 10570に基 づく	JIS A 8346: 2004



ISO/TC 127/SC 2	ISO 10968: 2020	EMM -- Operator's controls	土工機械－ 操縦装置	運転員の搭乗する機械の主要操縦装置の要求事項を規定する規格で、最新版は、スウェーデン提案のチルトローテータ操作追加などをISO/TC 127/SC 2/WG 26で検討、日本は横置きペダル・ジョイスティック式レバー上部のノブの指操作・ローラの複式かじ取り操舵輪その他の意見提出、調整に手間取ったため一旦取下げ即再開、2019年7月末期限のDIS投票で承認、各国意見を2019年9月WG会議などで調整、同時操作可能性のある隣接走行ペダル間隔に関する日本意見は反映、(下限付近のミニ)ショベルで、ブーム中心線右側の縦方向ブームスイングペダルの操作に対するブーム動作は製造業者の選択とされて一応配慮され、FDIS投票(2020年4月7日期限)の結果承認され、2020年5月に改正発行された。	JIS は旧版 に戻づく (MOD) の で、規格協 会さんのご 支援を要請 して2020 年版に基づ く JIS A 8919 改正原 案を作成開 始	JIS A 8919: 2007
ISO/TC 127	ISO 10987: 2012	EMM -- Sustainability -- Terminology, sustainability factors and reporting	土工機械－ 持続可能性 －用語、持 続可能性因 子及び報告	持続可能性の観点からの土工機械に関する評価などに関する規格化、2018-03-05期限の定期見直しでは、「棄権」除く満票で「確認」、なお、担当のISO/TC 127/WG 8は当面の案件無く、そのままでは解散の方向であるが、他方中国からSC設立の意見もあるので、とりあえずそのままとなった		
ISO/TC 127	ISO 10987- 2: 2017	EMM -- Sustainability -- Part 2: Remanufacturin g	土工機械－ 持続可能性 －第2部： 製品再生	製品再生に関する中国提案の標準化、日本としては部品再生の枠を超えるものは反対なので反対投票も賛成大多数で発行		
ISO/TC 127	ISO 10987- 3: 2017	EMM -- Sustainability -- Part 3: Used machines	土工機械－ 持続可能性 －第3部： 中古機械	中古機に関する中国の標準化提案、日本としてはFDIS投票に際して各種規定への適合について必ずしも現実的でないとして(部品取り用の取引もありうる)反対も、米国(日本と類似意見)を除く各国の支持で承認され発行		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 11112: 1995	EMM -- Operator's seat - - Dimensions and requirements	土工機械－ 運転座席－ 寸法及び要 求事項	シートの寸法、調節量及び要求事項を規定、アームレストについて参考記述、2021-12-03期限の定期見直しでは、一部「改正」意見もあったが大多数の意見で「確認」	JISではAmd 1を一体化 して編集	JIS A 8326: 2003
ISO/TC 127/SC 2	ISO 11112: 1995 / Amd 1: 2001		上記の追補 修正	Amd 1では小型の機械でのシート調節量の下限値を70に緩和		
ISO/TC 127/SC 1	旧プロ ジェクト 番号 ISO 11152	EMM -- Test methods for energy use	土工機械－ エネルギー 消費試験方 法	エネルギー消費試験方法の標準化で2007年に米国提案、TC 127/SC 1/WG 6（コンビナーは米国Caterpillar社のCrowell氏）設立、JCMASをISO様式で提出、再現性重視の模擬動作に対し、欧米は実掘削を主張、両論併記で予備業務検討も米国熱意喪失し中断、JCMASのISO提案を参照もようの中国標準化で再開機運生じ、2018年10月総会で日米共同で業務再開、2019年9月にコマツの専門家をPLとしてTR化の予備業務承認、12月に再開WGを東京で開催、海外専門家代替わりで模擬動作理解せず後退も、JCMAS作成経緯説明等理解を求め、TRではなくTSとする方向で調整、2021年には4月7日・8日、7月13日・15日、10月6日、2022年1月12日・13日、3月23日・24日にWebで会合、試験条件の機械諸元関数化を検討、また、海外意見の実掘削も、より詳細検討		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 11862: 1993	EMM -- Auxiliary starting aid electrical connector	土工機械－ 始動補助装 置の電気コ ネクタ	機械のエンジンの始動を補助する回路のための電気コネクタの仕様を規定、2016年の定期見直しでは一部改正などの意見もあったため結論に至らず翌年の広島総会時に確認と決議したが、最近の2021-12-03期限の定期見直しでは「確認」多数もかなりの意見の付された「改正」との意見があったので、処理未決定	JIS A 8340- 1:2011, 4.17.7A～ 4.17.7Jと同 等	

ISO/TC 127/SC 2	ISO 12117: 1997	EMM -- Tip-over protection structure (TOPS) for compact excavators -- Laboratory tests and performance requirements	土工機械—ミニショベル横転時保護構造(TOPS)—試験方法及び性能要求項目	ミニショベルが横転などしたときに運転員が機械に押しつぶされる可能性をへらすためのガードの静荷重下の負荷特性の評価方法及び静負荷での性能要求事項を規定、2018-03-05期限の定期見直しでは、数件の「改正」との意見もあったが、多数意見によって「確認」		JIS A 8921: 2001
ISO/TC 127/SC 2	ISO 12117: 1997 / Cor 1: 2000			上記の正誤表		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 12117-2: 2008	EMM -- Laboratory tests and performance requirements for protective structures of excavators -- Part 2: Roll-over protective structures (ROPS) for excavators of over 6 t	土工機械—ショベル系掘削機保護構造の台上試験及び性能要求事項—第2部：6トンを超える油圧ショベルの転倒時保護構造(ROPS)	6トンを超える油圧ショベル転倒時に運転員が機械に押しつぶされる可能性をへらすためのガードの静荷重下の負荷特性の評価方法及び静負荷での性能要求事項及び材料温度要求事項を規定、2017-06-07期限の定期見直しでは、「棄権」除く満票で「確認」であるが、その後の柳州総会で韓国から負荷試験時の機械の条件について作業装置は床面最大掘削半径位置でブームが最も低い状態と規定されているが作業装置によってはブームが最も低い状態とはならない場合についての質問があり、論議の結果、保護構造に関する特設グループで検討することとなった(が未)	JIS A 8921-2 発行済み	JIS A 8921-2: 2011
ISO/TC 127/SC 2	ISO 12117-2: 2008 / Amd 1: 2016					
ISO/TC 127/SC 2	ISO 12117-2: 2008 / Cor 1: 2010			表示などに関する小修正追補日本提案		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 12508: 1994	EMM -- Operator station and maintenance areas -- Bluntness of edges	土工機械－ 運転席及び 整備領域－ 端部の丸み	運転員及び整備員などがケガを する可能性を減らすため運転室 や機械の整備箇所などの端部や 角部のシャープさの制限の規 定、なお2021年3月4日期限の定 期見直しでは「棄権」除く満票 で「確認」		JIS A 8323: 2001
ISO/TC 127/SC 3	ISO 12509: 2004	EMM -- Lighting, signalling and marking lights, and reflex- reflector devices	土工機械－ 照明、信 号、車幅な どの灯火及 び反射器	路上及び路外で必要となる灯火 類の取付及び性能要求事項を規 定		
ISO/TC 127/SC 3	ISO/DI S 12509	EMM — Lighting, signalling and marking lights, and reflex- reflector devices	土工機械及 び不整地ト ラック(通 称 テレハ ンドラー) 照明、信 号、車幅な どの灯火及 び反射器	点滅灯など考慮の改正で、諸般 の経緯を経てTC 110/SC 4(テレハ ンドラー)との合同作業グループ SC 3/JWG 11とし、2019年1月に 業務再開、Web会議、同12月東 京会議などで検討、Deere社の Johnson氏がコンビナーとなり、 2020年9月Web会合でCD案文検 討、CD投票に付され、日本は法 令の問題から反対も大多数賛成 で承認、意見検討のため、同12 月15日及び2021年1月26日、2月2 日・16日、3月4日、4月6日に Web会議で検討、DIS 12509投票 (2021年11月18日期限)に進め られ、日本は側面等再帰性反射 材・集合式非常回転灯等が保安 基準に反し「反対」も、大多数 の支持で「承認」、意見の処理 のため、FDISに進めるべく2021 年12月14日、2022年1月24日・27 日、2月28日、3月7日・29日に WG会議Web開催して検討した		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 12510: 2004	EMM -- Operation and maintenance -- Maintainability guidelines	土工機械－ 運用及び保 全－安全性 の指針	機械の保全性に関する指針を記 述、2018-03-07期限の定期見直し では一部「改正」との意見も あったが、大多数の意見によっ て「確認」		JIS A 8337: 2009

ISO/TC 127/SC 3	ISO 12511: 1997	EMM -- Hour meters	土工機械－ アワメータ	機械の作業時間の合計を測定するメータについて規定、追補とは別に実施の2019-09-03期限の定期見直しでは現に追補作業中であることから「改正」との意見もあったが、多数意見によって(本体と追補とは別扱いとして)「確認」	追補発行によって、国際整合上はJIS追補要の状況はあるが、優先度は疑問	JIS A 8111: 2001
ISO/TC 127/SC 3	ISO 12511: 1997 / Amd 1: 2021	EMM -- Hour meters	土工機械－ アワメータ	アワメータ表示の信頼性確保のため、取外し不可などを求めるイランの提案で、製造側各国は技術的困難から反対も他の各国支持で承認、米国のCrowell氏がコンビナー、PLはイランの専門家としてTC 127/SC 3/WG 14設立し、広島総会はイラン欠席も案文提出、幹事国側で追補案を整えてコンビナーから案文配布となったが、米国担当の作業が進展せず日程遅延で廃案を避けるため、CD段階省略を決議して、直接DAM案をISO中央事務局に提出してDAM投票(2020年5月11日期限)に進められ、大多数の賛成によって承認、FDAMに進める手続きの後、FDAM投票(2021年2月9日期限)承認され、2021年3月にAmd 1発行された。		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 13031: 2016	EMM -- Quick couplers -- Safety	土工機械－ クイック ヒッチ－安 全性	アタッチメントのクイックヒッチの安全性について規定、FDIS準備に時間を要することと、コンビナー交代のため、いったん取り下げてSC 2/WG 14で検討し、発行にこぎつけた、なお、2021-09-03期限の定期見直しでは、追補NPと並行となったため、「改正」と「確認」の差が少ない状況ではあったが、追補業務とは別扱いとして「確認」となっている	JIS A 8340- 1:2011の附 属書JDが対 応していた が、ISOに 基づくJIS原 案作成提出	

	ISO 13031: 2016/A WiAm d 1	EMM -- Quick couplers -- Safety	土工機械－ クイック ヒッチ－安 全性	欧州機械安全対応整合化規格改 正案FPrEN474-5などとの整合の ための追補で、英国工業会の方 から新業務提案され、投票(2021 年8月29日期限)承認され、SC 2/WG 33設立又はSC 2/WG 14復 活して検討見込み		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 13333: 1994	EMM -- Dumper body support and operator's cab tilt support devices	土工機械－ ダンパ荷台 支持装置及 び運転室傾 斜支持装置	ダンプトラックの荷台及びチルト 式オペレータキャブなどを整備 などのため持ち上げて保持す る際の支持具の性能要求事項及 び試験方法を規定、なお2021年3 月4日期限の定期見直しでは「棄 権」除く満票で「確認」		JIS A 8332: 2005
ISO/TC 127/SC 2	ISO 13459: 2012	EMM -- Trainer seat -- Deflection limiting volume, space envelope and performance requirements	土工機械－ 補助席－た わみ限界領 域、周囲空 間輪郭及び 性能要求事 項	補助席をダンプトラック以外の 土工機械に適用範囲拡大し、ま た、ROPS装着の際のDLVの適用 についても(通常のDLVを修正し て)規定する以前の改正は発行済 み、なお、2017-12-06期限の定期 見直しでは、日本は次項に示す 指摘をして「改正」の旨投票し たが、他の大多数の投票で「確 認」となった。いずれにしても、「追補」の場合は「本体」 の方はそのままとなる		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 13459: 2012/C D Amd 1	EMM -- Trainer seat -- Deflection limiting volume, space envelope and performance requirements	土工機械－ 補助席－た わみ限界領 域、周囲空 間輪郭及び 性能要求事 項	日本は、Figure 1に誤記があるこ とを指摘し、間宮代表が主導す る特設グループを設立して検討 し、2020年6月のWeb総会にて、 前記特設チームの業務をTC 127/SG 13を再開して引き継ぐこ ととし、日本のコマツの間宮氏 をコンビナー、同じくコマツの 別の専門家をプロジェクトリー ダとする追補の新業務として検 討することとなり、その後、CD 投票に進められ、2021年12月に 満票で承認され、今後、DAM投 票に進められるものと思われる		

ISO/TC 127/SC 4	ISO 13539: 1998	EMM -- Trenchers -- Definitions and commercial specifications	土工機械－トレンチャ－用語及び仕様項目	トレンチャの用語及び仕様項目を規定、2019-09-03期限の定期見直しでは、「確認」大多数も、一部「改正」との投票もあったので、結局、総会で「確認」の旨決議した		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/A WI 13649	EMM -- Fire prevention	土工機械－火災予防	当初土工機械の火災の消火装置などの標準化提案も、いったん取下げISO/TC 127/SC 2/WG 15で検討、日本は途中から参加見送りも、新業務提案承認され、Deere社の専門家をPL兼SC 2/WG 15コンビナーとして火災予防に関して検討、2019年1月18日期限でCD投票承認されたが、日程超過の懸念から、委員会内投票でいったん取下げSC 2/WG 15は維持、何回目かの新業務提案として再開提案され投票(2021年11月17日期限)承認され、米国斗山Bobcat社のNEVA氏がコンビナーとなり、専門家追加募集されている		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 13766 Series	Earth-moving and building construction machinery -- Electromagnetic compatibility (EMC) of machines with internal electrical power supply	土工機械－電磁両立性規格群	機械の外部電磁環境に対する耐性イミュニティと、外部環境への機械からの放射エミッションについて電磁両立性を規定するISO 13766のイミュニティ要求を、自動車同様レベルと、従来のISO 13766の高めのレベルとの調整のための改正をISO/TC 127/SC 2/WG 16で調整・検討、周波数帯域拡大、電界強度妥当性など懸念指摘方向で参画を図り、今回改正では、イミュニティ試験の周波数帯域拡大などでBCI法などより低周波帯域での代替方法が高周波帯域では認められずRF法などで実施する必要があり、なお、改正は2018年4月に発行され、欧州EMC指令などの整合化規格として参照され、猶予期限の2021年6月末までに対応要である。以前から指摘の2018年版の一部誤記訂正申し入れは、あて先は、幹事国(米国)宛てとなる。	RF法によるイミュニティ試験のオープンサイトでの実施は電波法抵触、大形の建設機械の試験可能な電波暗室を保有するのは国内では母機メーカー社だけであったが、試験会社の大形電波暗室が2020年6月から使用可能	次項参照

ISO/TC 127/SC 2	ISO 13766- 1: 2018	Earth-moving and building construction machinery -- Electromagnetic compatibility (EMC) of machines with internal electrical power supply -- Part 1: General EMC requirements under typical electromagnetic environmental conditions	土工機械及び建設用機械－内部電源形機械の電磁両立性(EMC)－ 第1部：典型的な電磁環境条件下でのEMC一般要求事項	イミュニティの許容基準を二分し、また、周波数帯域も見直すこととなり、自動車に対する要求レベルとの整合部分を第1部とした	ISOの新版に基づくJIS	JIS A 8316- 1: 2021
ISO/TC 127/SC 2	ISO 13766- 2: 2018	Earth-moving and building construction machinery -- Electromagnetic compatibility (EMC) of machines with internal electrical power supply -- Part 2: Additional EMC requirements for functional safety	土工機械及び建設用機械－内部電源形機械の電磁両立性(EMC)－ 第2部：機能安全のためのEMC追加要求事項	イミュニティの許容基準を二分し、また、周波数帯域も見直すこととなり、自動車よりも強めの従来ISO 13766同等の、ただし周波数帯域拡大された基準を適用	同上	JIS A 8316- 2: 2021



ISO/TC 127/SC 1	ISO 14397- 1: 2007	EMM -- Loaders and backhoe loaders -- Part 1: Calculation of rated operating capacity and test method for verifying calculated tipping load	ISO旧版に 基づく現行 JIS：土工 機械－ロー ダ－第5 部：定格積 載質量の計 算及び検証 方法 ISO新版： 土工機械－ ローダ及び バックハウ ローダ－第 1部：定格 積載質量の 計算及び転 倒荷重計算 値の検証試 験方法	ローダの定格積載質量を決定す るための必要条件並びにその計 算方法及び計算を実証するため の試験手順を規定、大重量ア タッチメントも考慮、2018-12-04 期限の定期見直しでは数件の 「改正」との意見もあったが、 別途、追補が進行していること もあり、多数の投票によって、 本体は「確認」となった	JIS A 8421-5 はISO旧版 DISに基づ く	JIS A 8421- 5: 1998
ISO/TC 127/SC 1	ISO 14397- 1: 2007/A md 1: 2019	Amendment 1		ローダの定格積載質量を決定す るための必要条件並びにその計 算方法及び計算を実証するため の試験手順を規定するISO 14397 の、安定度に関する基準に、ス キッドステアローダに関する基 準を追加するなどの追補提案 で、DAM投票の結果、満票で承 認され、2019年8月追補発行され た。		

ISO/TC 127/SC 1	ISO 14397- 2: 2007	EMM -- Loaders and backhoe loaders -- Part 2: Test method for measuring breakout forces and lift capacity to maximum lift height	JIS：土工 機械－ロー ダー第4 部：最大堀 起し力及び 持ち上げ力測 定方法 ISO：土工 機械－ロー ダー及びバック ホウロー ダー第2 部：最大堀 起し力及び 最大持ち上 げ高さへの 持ち上げ能力 測定方法	ローダの最大掘起し力及び最大 持ち上げ高さへの持ち上げ能力の 測定方法について規定、ローダ の大塊処理作業時の掘起し力な どを考慮、2018-12-04期限の定期 見直しでは、一部「改正」との 投票もあったが、大多数の投票 によって「確認」	JIS A 8421-4 はISO旧版 DISに基づ く	JIS A 8421- 4: 1998
ISO/TC 127/SC 1	ISO 14401- 1: 2009	EMM -- Field of vision of surveillance and rear-view mirrors -- Part 1: Test methods	土工機械－ 後写鏡及び 補助ミラー の視野－第 1部：試験 方法	後写鏡及び補助ミラーに関する 試験方法の規定の規格、2020-06- 03期限の定期見直しでは、一部 「改正」との投票もあったが、 大多数の「確認」との投票であり、 2020年のWeb総会の決議によ って「確認」	JIS はISO 旧版に対 応	JIS A 8333- 1: 2005
ISO/TC 127/SC 1	ISO 14401- 2: 2009	EMM -- Field of vision of surveillance and rear-view mirrors -- Part 2: Performance criteria	土工機械－ 後写鏡及び 補助ミラー の視野－第 2部：性能 基準	後写鏡及び補助ミラーに関する 要求事項の規定の規格、2020-06- 03期限の定期見直しでは、数件 の「改正」との投票もあった が、他の多数は「確認」との投 票であり、2020年のWeb総会 の決議によって「確認」	JIS はISO 旧版に対 応	JIS A 8333- 2: 2005
ISO/TC 127/SC 3	ISO 14990- 1: 2016	EMM -- Electrical safety of machines utilizing electric drives and related components and systems -- Part 1: General requirements	土工機械－ 電機駆動式 機械並びに 関連構成部 品及び装置 の電気安全 －第1部： 一般要求事 項	電機駆動及びハイブリッド式土 工機械の電子システムの安全性 の規格案、ISO/TC 127/SC 3/WG 9で検討、IECを参考とするが書 きぶりは土工機械用にまとめて いる、第1部を一般として制定発 行、2022-03-14期限の定期見直 しでは、「確認」多数も、かなり の意見を付した「改正」の意見 があったので、処理未定	ISOに基づ くJIS原案を 大臣申し 出、2019年 3月20日発 行	JIS A 8425- 1: 2019

ISO/TC 127/SC 3	ISO 14990- 2: 2016	EMM -- Electrical safety of machines utilizing electric drives and related components and systems -- Part 2: Particular requirements for externally- powered machines	土工機械－ 電機駆動式 機械並びに 関連構成部 品及び装置 の電気安全 －第2部： 外部電源式 機械の特定 要求事項	同じく第2部を外部電源式機械に 関する特定要求事項として、制 定発行、2022-03-14期限の定期見 直しでは、「確認」大多数も、 考慮すべき「改正」の意見が あったので、処理未定	ISOに基づ くJIS原案を 大臣申し 出、2019年 3月20日発 行	JIS A 8425- 2: 2019
ISO/TC 127/SC 3	ISO 14990- 3: 2016	EMM -- Electrical safety of machines utilizing electric drives and related components and systems -- Part 3: Particular requirements for self-powered machines	土工機械－ 電機駆動式 機械並びに 関連構成部 品及び装置 の電気安全 －第3部： 電源内蔵式 機械の特定 要求事項	同じく第3部を電源内蔵式機械に 関する特定要求事項として、制 定発行、2022-03-14期限の定期見 直しでは、「確認」大多数も、 考慮すべき「改正」の意見が あったので、処理未定	ISOに基づ くJIS原案を 大臣申し 出、2019年 3月20日発 行	JIS A 8425- 3: 2019
ISO/TC 127/SC 3	ISO 15143- 1: 2010	EMM and mobile road construction machinery -- Worksite data exchange -- Part 1: System architecture	土工機械及 び道路工事 機械－施工 現場情報交 換－第1 部：システ ム構成	情報化施工及び機械管理などの ためのデータ交換のシステム構 成及び用語及び定義について規 定、2021-12-03の定期見直しで は、一部「改正」との意見も あったが、大多数の投票によっ て「確認」	ISOに基づ く(MOD)JIS 原案を作成 済みである が、英文表 記の扱いの 問題で発行 に進まず	
ISO/TC 127/SC 3	ISO 15143- 2: 2010	EMM and mobile road construction machinery -- Worksite data exchange -- Part 2: Data dictionary	土工機械及 び道路工事 機械－施工 現場情報交 換－第2 部：データ 辞書	情報化施工及び機械管理などの ためのデータ交換の際のデータ 辞書について規定、2015-12-17期 限の定期見直しでは、「確認」 多数で一部だけ「改正」も、進 行中の第3部との調整もあり処理 未定となり、2017年6月の総会で 「確認」の旨決議	ISOに基づ く(MOD)JIS 原案を作成 済みである が、英文表 記の扱いの 問題で発行 に進まず	

ISO/TC 127/SC 3	ISO/TS 15143- 3: 2020	EMM and mobile road construction machinery -- Worksite data exchange -- Part 3: Telematics data	土工機械及 び道路工事 機械－施工 現場情報交 換－第3 部：テレマ ティクス データ	機械管理情報の(機器側サーバー からの)ネット配信の標準化で、 初版は2016年発行、データ項目 の追加をメンテナンス機関MAで 実施するためなど改正され、な お、ISO中央事務局サーバにアッ プされているXSDファイルを JCMAに移管すること含め、第3 部以降含む全てのISO 15143規格 群のMAをJCMA担当とすること が広島及び柳州総会で決議さ れ、改正案初回投票は不具合の ため反対投票、また、意見対応 処理し、第2次投票承認され、 JCMAのHP上のMAの安定的維持 に努めてXSDファイル改訂版 JCMA移管作業を実施し、校正版 確認の上、2020年1月末に改正発 行された	JCMAサー バの安定性 が解決した もようなの で、XSD ファイルの JCMA移管 を進めた	
ISO/TC 127/SC 3	ISO/ AWI TS 15143- 4 [Under develo pment]	EMM and mobile road construction machinery -- Worksite data exchange -- Part 4: Worksite topographical data	土工機械及 び道路工事 機械－施工 現場情報交 換－第4 部：施工現 場地形デー タ	情報化施工データを機器メーカ のサーバー経由ネット配信及び 機械に入力の際の情報交換に関 し、米国Deere社の方がより実装 側も含む第4部を提案、TS技術仕 様書発行を目指し、日米共同コ ンビナー兼PLで作業、主要事項 検討のため作業結果データ、工 事データ、数値地形モデル、 サーバー間交信、現場座標系変 換などの特設チームをSC 3/WG 5 傘下に設立、また、親SCで RTCM及びTC 211(地理情報)との 連携設立を決議、各チームは担 当事項をWeb会議で検討しつつ WG全体会議などでまとめつつ進 行、サーバー間交信のアクセス 認可は当初Kantara Initiativeが扱 うUMA 2.0によることとしてい たがKantaraがNPOであることか らより普遍的適用の点からIETF で扱うRFC 8693によることとな り、WG全体会合数次開催、		

				他に各特設会議・案文の整備のための編集会議その他Web会合を多数開催、なお、トプコン提案のMFK順運動学的扱いを含めるか、各関係データを扱うAPIなども論議され、また、概念実証をどうするかが関係者経費負担を伴うため問題とされている。他方、数値地形データの検討から、LandXML 2.0に基づくサブセット作成となるなど各チームの検討が進み、ISO 15143規格群は、当初日本主導でデータの定義を標準化した。この第4部は、より実装側となり、技術的検討は測量機器メーカーやフィンランドのソフトウェアベンダー主体となっている		
ISO/TC 127/SC 4	ISO 15219: 2004	EMM -- Cable excavators -- Terminology and commercial specifications	土工機械－機械式ショベル－用語及び仕様項目	機械式ショベルの用語及び商用仕様項目の規格、2019-09-03期限の定期見直しでは、日本は規格内容にクレーンを含んでいるのは不具合として「改正」の旨投票も、「確認」大多数で、改正の場合は日本がPLを担当すべきであるが機械式ショベルの使用及び製造業者が減っていることから難しく、結局2020年のWeb総会では「確認」の旨決議された		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 15817: 2012	EMM -- Safety requirements for remote operator control systems	土工機械－遠隔操縦の安全要求事項	遠隔操縦式機械の安全要求事項を規定、右記JIS化の際の問題点に基づきISO 15817への追補を日本として提案した経緯はあるが、米国担当の改正となった事情がある、2017-06-07期限の定期見直しでは、日本含む一部「改正」との投票もあったが、多数の投票により「確認」となった	旧版に基づくJIS A 8408: 2012(ISO旧版に基づく)	JIS A 8408: 2012(ISO旧版に基づく)

ISO/TC 127/SC 3	ISO 15818: 2017	EMM -- Lifting and tying-down attachment points -- Performance requirements	土工機械－つり上げ及び固縛箇所－性能要求事項	土工機械を輸送するために、機械をつり上げたり荷台に固縛のため、当初意図はその「方法」の標準化で日本提案したが、海外各国は、TC 127の規格では機械側のアイの強度などを規定すべきとの論議で、「方法」は輸送業界の責任だから適用範囲外で参考情報として扱うとされ、日本のコマツの専門家担当で案文作成、ドイツのチェーンメカ・職業保険組合の要求で規定を安全側としたが、つり上げ・固縛用器具の安全率の国際的な差異・トレーラ荷台側の差異など問題があるため、日米では対応に懸念が生じいったんFDIS不承認、DISに戻すなど長年の検討を経て最終的にコベルコ建機の専門家をPL兼ISO/TC 127/SC 3/WG 4コンビナーとして制定発行、現在2022-06-13期限で定期見直し中	ISOに基づくJIS原案を大臣申し出、2019年3月20日制定発行された。	JIS A 8426: 2019
ISO/TC 127/SC 3	ISO 15998: 2008	EMM -- Machine-control systems (MCS) using electronic components -- Performance criteria and tests for functional safety	土工機械－電子機器を使用した機械制御系(MCS)－機能安全のための性能基準及び試験	電子機器を使用した機械制御系の機能安全に関する性能基準及び試験でIEC 61508規格群を参照しているが、今後ISO 19014規格群での置き換えが見込まれる、なお、2017-12-06期限の定期見直しでは、一部「改正」も多数は「確認」で、前記置き換え見込みから暫定的に「確認」とされたが、ISO 19014規格群進行により、いずれ置き換えとして、柳州総会で「改正」状態の旨決議		

ISO/TC 127/SC 3	ISO/TS 15998- 2: 2012	EMM -- Machine control systems (MCS) using electronic components -- Part 2: Use and application of ISO 15998	土工機械－ 電子機器を 使用した機 械制御系 (MCS)－第 2部：ISO 15998使用 及び適用の ための指針	上記への対応手法に関する指針 で、IEC 61508に基づくが、ISO 13849-1適用との意見も出るなど の経緯あったがいったん発行、 今後ISO 19014規格群での置き換 えが見込まれ、2016-03-17期限の 定期見直しでは、一部「改 正」・「廃止」との投票あるも 多数の投票によって「確認」で あったが、ISO 19014規格群進行 により、定期見直し結果として はいずれ置き換えとされている	ISO/TC 127/SC 3/WG 8で検 討、DTS投 票承認され 発行済み	
ISO/TC 127/SC 1	ISO 16001: 2017	EMM -- Object detection systems and visibility aids -- Performance requirements and tests	改訂版名 称：土工機 械－物体検 知装置及び 視界補助装 置－性能要 求事項及び 試験	土工機械では、運転員の視野確 保が容易でないことから、超音 波など危険検知装置及びカメ ラ・モニタシステムなど各種機 器を比較しつつ扱う規格である が、画像処理による鳥瞰画像シ ステムなどが普及しつつあるこ となどからISO 16001改正を提 案、日本のコマツの専門家がPL 兼ISO/TC 127/SC 2/WG 25のコン ビナーとして検討開始、フラン スからは複眼カメラ使用で形態 認識技術の視覚的危険検知装置 が提案され、また、案件及びWG をSC 2からSC 1(SC 1/WG 13)に 移管、FDIS投票を経て2017年11 月に改訂版発行された。その後 動きはないが、ISO 21815では衝突 リスクを評価して警報を発する ものをCollision Warning Systemと しているため、ISO 16001の一部 装置で障害物と人を区分して警 報を発するものの扱いは調整要 の可能性はある	ISO 16001改 訂版に基づ くJIS A 8338が改正 発行済み で、規格名 称も改正さ れた	JIS A 8338: 2021

ISO/TC 127/SC 4	ISO 16417: 2020	EMM -- Hydraulic Breakers -- Terminology and commercial specifications	土工機械－ 油圧ブレー カー用語及 び仕様項目	油圧ブレーカの用語、仕様項目 及び関連要求事項を規定する提 案で、当初韓国がPL、自動廃案 を防ぐためいったん取下げて、 ISO/TC 127/SC 4/WG 4(米国斗山 Bobcat社の専門家がコンビナー) で検討、再度のNP承認され、米 国担当で再開、規格案名称も修 正、2018-08-07期限のCD投票承 認され、性能試験方法を扱う第2 部の取下げによって、名称から “第1部”を削除し、2020年4月13 日期限でDIS投票に付され、DIS 満票で承認、各国意見反映のため FDISに進め、投票(2020年10月 9日期限)承認されて、2020年11 月に制定発行、なお、油圧ブ レーカ製造業者のうち、会員会 社へは協会から問い合わせたが、 非会員へは必要に応じて委員各 社から問い合わせさせていただいた。		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 16417- 2廃番	EMM -- Hydraulic Breakers -- Part 2: Test methods 廃案	土工機械－ 油圧ブレー カー第2 部：試験方 法	油圧ブレーカの性能試験方法及 び音響レベル測定方法などを標 準化する提案で、PLは韓国、 ISO/TC 127/SC 1/WG 12(米国斗山 Bobcat社の専門家がコンビナー) で検討として2018年5月2日期限 で新業務提案投票され、日本含 む数カ国は提案されている方法 には問題があるとして反対し、 賛成多数も承認に必要な比率に 達せず不承認、韓国は再提案に 向けて再検討のもようも、柳州 総会でも何ら提案なく、案件は 取り下げ状況で、これに伴いSC 4案件の用語及び仕様項目は“第1 部”を外す旨決議された。		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 16714: 2008	EMM -- Recyclability and recoverability -- Terminology and calculation method	土工機械－ 熱回収含む リサイクル 性－用語及 び計算方法	土工機械の熱回収含むリサイク ル性の用語及び計算方法を規 定、2017-12-06の定期見直しで は、大多数が「確認」も、一部 「改正」との意見もあったので いったん結論を保留したが、 「改正」意見が取り下げされた ので「確認」		



ISO/TC 127/SC 1	ISO 16754: 2008	EMM -- Determination of average ground contact pressure for crawler machines	土工機械－ 履带式機械 の平均接地 圧決定方法	履带式機械の公称接地圧の算出 方法を規定、2018-12-04期限の定 期見直しでは、日本は国内法令 との齟齬によって「改正」の旨 投票したが、大多数の投票に よって「確認」		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 17063: 2003	EMM -- Braking systems of pedestrian- controlled machines -- Performance requirements and test procedures	ハンドガイ ド式機械の 制動装置に 関する性能 要求事項及 び試験方法	ハンドガイド式機械の制動装置 に関する性能要求事項及び試験 方法を規定、2020-03-04期限の定 期見直しでは、一部「改正」と の投票もあったが、大多数の投 票によって「確認」	JIS A 8340- 1:2011では ISOに基づ く(MOD)附 属書JGとし ている(適宜 国内法令を 適用すべき ことを追 記)。	
ISO/TC 127/SC 1	ISO 17253: 2014	EMM and rough-terrain variable-reach trucks -- Design requirements for machines intended to be driven on road	土工機械及 びテレハン ドラー公道 回送を意図 した機械の 設計要求事 項	諸般の経緯あったが、公道回送 を意図した機械の設計要求事項 として発行、2019-12-02期限の定 期見直しでは、一部「改正」と の投票もあったが、大多数の投 票によって「確認」（日本は国 内法令適用の旨を意見提出)		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 17757: 2019	EMM and mining -- Autonomous and semi- autonomous machine system safety	土工機械及 び鉱山—自 律式及び準 自律式機械 システムの 安全	自律式機械（遠隔操縦は除外） の安全に関する標準化で、鉱 山の重ダンプトラックの自動運 転を主要対象とし、日本も参 画、現状技術では、自動車とは 異なり自律式機械運転稼動範囲 には他の人・車両などの立入禁 止前提なので、現場管理含む機 械を使用するシステムとしての 規格となり、ISO/TC 82鉱山との 合同ISO/TC 127/SC 2/WG 22で検 討、それに伴い規格名称も「自 律式及び準自律式機械システム の安全」に修正、2017年9月に いったん制定発行された。この 分野は、技術進歩が急速に進ん でいることから、次の段階を検 討する必要があるとして検討を 進め、とりあえずの改正案を即 DISに付して2019年1月31日期限 で投票、承認され小改正発行さ れた。更に長期的改正を2021年6 月30日・2022年2月22日のWeb会 議などで検討中である		
ISO/TC 82	ISO 18758- 1:2018	Mining and EMM -- Rock drill rigs and rock reinforcement rigs -- Part 1: Vocabulary	鉱山及び土 工機械— ロックドリ ルリグ及び 岩盤補強工 リグ—第1 部：用語	ロックドリルリグに関する国際 標準化で、主担当のTC 82(鉱山) は日本では(一社)資源・素材学会 さんが国内審議団体なので、連 携して対処することを学会さん にお願い申し上げていく方向で ある		
ISO/TC 82	ISO 18758- 2:2018	Mining and EMM -- Rock drill rigs and rock reinforcement rigs -- Part 2: Safety requirements	鉱山及び土 工機械— ロックドリ ルリグ及び 岩盤補強工 リグ—第2 部：安全要 求事項	同上		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 19014 series		<p>土工機械—制御系の安全—リスクアセスメント及びパフォーマンスレベルの決定</p>	<p>機械制御系の安全に関してISO 13849-1に基づく標準化で、SC 2/WG 24で検討、膨大な内容のため、国際WGも頻繁に会合、各国専門家が集中的に取り組み、開発にはかなりの負担が生じたが、未発行の第2部(FDIS)を除く他の第1部～第5部が発行され、そろって発行された時点で、ISO 15998を置き換え、また、欧州整合化規格で参照されることとなる(この場合、第1部及び第5部の手直しが必要となる見込みである)。このほか、2019年8月の会合で話題となった非決定論的様相を含む制御系の安全に関して、予備業務ISO/PWI 6135として検討することとなり、また、自動運転の分類に関する標準化はISO/TC 127/SC 4の新業務ISO/AWi 7334としてSC 4/WG 6で検討することとなっている</p>		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 19014-1: 2018	EMM -- Functional safety -- Part 1: Methodology to determine safety-related parts of the control system and performance requirements	<p>土工機械—機能安全—第1部：制御装置の安全関連部品の決定方法及び性能要求事項</p>	<p>ISO 13849-1(JIS B 9705-1)に基づき、(電子式以外も含む)機械の制御系の安全関連部に関してリスク分析及びリスクの評価並びに及びパフォーマンスレベルの決定に関する標準化で、基になるISO 13849-1とIEC 61508でリスクレベル評価に差異がありなどの点から、より詳細に扱うためパート制とすることとなり、一般的な性能要求事項の第1部はいったんDIS不承認も調整してFDIS 19014-1に進められ2018年4月20日承認、発行された。第5部の参照について追補予定も、追補で扱う他の事項に関してWG 24の専門家に意見聴取、Q1：QMを変更するか、Q2：Severity RatingのTable1を変更するかは、従来論議結果を否定するとして反対しているが、Q3：ISO 13849-1をnormative referenceとして記載するかに関して、ISOの規定上の問題について事務局で確認要となっている</p>	ISOに基づくJIS A 8341-1原案作成中で、今後、(支援元の)規格協会を通じて、大臣申し出予定である	

ISO/TC 127/SC 2	ISO/F DIS 19014 -2 [Under develo pment]	EMM -- Functional safety -- Part 2: Design and evaluation of hardware and architecture requirements for safety-related parts of the control system	土工機械－ 機能安全－ 第2部：機 械制御系の 安全関連部 品のハード ウェア及び 構成の設計 及び評価	制御系の設計及び評価に関する 第2部は、電子式主体に検討も、 油圧式なども適正に扱う必要あ り、案文準備に時間を要し、一 端取上げて再度のNP承認され、 CD 19014-2が2018年5月1日期 限で投票に付され、日本としては 油圧式機械制御の適切な扱いを 主張し一部採用され、また、規 格名称一部変更して、2019年12 月12日期限でDIS投票に付され、 日本は各種意見を付して反対し たが、賛成大多数で承認され、 WG会議で各国意見検討、油圧系 機械制御装置の評価に関して合 意形成が容易でなく2020年10月 ～11月、2021年1月、3月のWeb 会議で論議され、油圧ショベル などでは、使用時の作動油汚染 進行によるパイロット操作の制 御系の不具合の懸念があるが、 取扱説明書など使用者への情報 で対処する方向で論議され、 2022-04-22期限でFDIS投票中 である		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 19014- 3: 2018	EMM -- Functional safety -- Part 3: Environmental performance and test requirements of electronic and electrical components used in safety- related parts of the control system	土工機械－ 機能安全－ 第3部：制 御系の安全 関連部品に 使用される 電子及び電 気構成部品 の環境性能 及び試験要 求事項	制御系の構成部品の環境性能及 び試験要求事項に関する第3部は FDISに進められたが、いったん 不承認で再調整され、第2次FDIS が2018年8月7日期限の投票で承 認され、制定発行された。		

ISO/TC 127/SC 2	廃案 ISO/F DIS 19014- 3	EMM — Functional safety — Part 3: Environmental performance and test requirements of electronic and electrical components used in safety- related parts of the control system	土工機械— 機能安全— 第3部：制 御系の安全 関連部品に 使用される 電子及び電 気構成部品 の環境性能 及び試験要 求事項	第3部制定発行済みであるが、細 分箇条5.5.2 Test methodの記載に IPXK6 との誤記があり、IPX6K とする誤記訂正を軽微な改正 minor revision として実施するこ とに関して2019年12月24日期限 のSC 2の決議は異議無く承認さ れて小修正を実施することと なったが、ISOの規定との問題が あるので廃案となった。		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 19014- 4: 2020	EMM -- Functional safety -- Part 4: Design and evaluation of software and data transmission for safety-related parts of the control system	土工機械— 機能安全— 第4部：ソ フトウェア 並びに制御 系の安全関 連部品への 交信の設計 及び評価	19014規格群でソフトウェアに関 する第4部は新業務承認されCD 19014-4が2018年5月8日期限で投 票承認され、次のDISも2019年8 月初め期限で投票承認され、各 国意見への対応がWGで協議、合 意され、FDIS投票(2020年5月28 日期限)で承認され、2020年7月 に制定発行された		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/TS 19014- 5:2021	EMM -- Functional safety -- Part 5: Tables of performance levels	土工機械— 機能安全— 第5部：パ フォーマンス レベルの 表	各機種のリスク評価のパフォー マンスレベルの表を第5部として 当初TR技術報告書とする方向 だったが、要求事項含む技術仕 様書TSとしてNP投票承認され、 各機種について頻繁に会合して 検討、主要機種に関して第5部発 行すべくDTS投票はいったん差 し戻し、2019年10月期限の投票 承認も、ISO Guide 78との整合の 問題もあるため方向性を再度見 直す決議が満票で承認され、再 度投票(2020年12月29日期限)に付 され、承認大多数も同時に多数 の意見提出されたため、提出意 見検討のためのWGが続行され、 この第5部関連では、2020年8月 19日、9月24日、また、2021年2 月に数回のWG会合が実施され、 これらの経緯を経て2021年末に 発行された		

当初は合同案件も、ISO/TC 82専管となり、TC 127対象外となった	ISO 19296: 2018	Mining -- Mobile machines working underground -- Machine safety	鉱山ー坑内走行式機械ー機械安全	鉱山及びトンネルなど地下で走行作業するロードホウルダンプ、坑内用ダンプなどの坑内走行機械の安全規格ISO/TC 82(鉱山)の作業グループで検討、日本で手がけているロードホウルダンプ、坑内用ダンプなどが関係するほか、重ダンプトラック、ローダなどを坑内・トンネルで使用する場合も対象に含まれるので、対応要ではあったが、合同WG解消のためTC 82専管として発行された。		
ISO/TC 127	ISO/TR 19948: 2016	EMM -- Conformity assessment and certification process	土工機械の適合性評価及び基準認証手順	適合性評価及び基準認証手順に関する技術報告書としての標準化		
ISO/TC 127	ISO 20474 series	EMM -- Safety	土工機械ー安全性	土工機械のEU機械(安全)指令への適合のための欧州整合化規格EN 474の最新版との整合を目指し、また、各国規制との不整合を避ける表記とする方向でSC 2/WG 9で検討、地域別の規定を記載した第14部は廃止となり、改訂版発行済みとなったが、各国規制との不整合を避ける表記は削除となったので、JIS化の際にどうするかなどの問題がある		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474-1:2017	EMM -- Safety - Part 1: General requirements	土工機械ー安全ー第1部: 一般要求事項	土工機械共通の安全要求事項を規定	JIS は2008年版ISO に基づく(MOD)、ISO に基づくJIS 改正原案作成	JIS A 8340-1: 2011
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474-2:2017	EMM -- Safety - Part 2: Requirements for dozers	土工機械ー安全ー第2部: ブルドーザの要求事項	ブルドーザ固有の安全要求事項を規定	JIS は2008年版ISO に基づく(MOD)	JIS A 8340-2: 2012

ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 3:2017	EMM -- Safety - - Part 3: Requirements for loaders	土工機械－ 安全－第3 部：ローダ の要求事項	ローダ固有の安全要求事項を規 定	JIS は2008 年版ISO に 基づく (MOD)	JIS A 8340- 3: 2012
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 4:2017	EMM -- Safety - - Part 4: Requirements for backhoe loaders	ISO：土工 機械－安全 －第4部: バックホウ ローダの要 求事項	バックホウローダ固有の安全要 求事項を規定		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 5:2017	EMM -- Safety - - Part 5: Requirements for hydraulic excavators	土工機械－ 安全－JIS 第4部、ISO 第5部: 油圧 ショベルの 要求事項	油圧ショベル固有の安全要求事 項を規定	JIS は2008 年版ISO に 基づく (MOD)、 ISO に基づ く JIS 改正 原案作成	JIS A 8340- 4: 2011
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 6:2017	EMM -- Safety - - Part 6: Requirements for dumpers	土工機械－ 安全－JIS 第5部、ISO 第6部：ダ ンパ(重ダ ンプトラック 及び不整 地運搬車) の要求事項	ダンパ固有の安全要求事項を規 定	JIS は2008 年版ISO に 基づく (MOD)	JIS A 8340- 5: 2012
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 7:2017	EMM -- Safety - - Part 7: Requirements for scrapers	ISO：土工 機械－安全 －第7部: ス クレーパー の要求事項	スクレーパー固有の安全要求事項 を規定		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 8:2017	EMM -- Safety - - Part 8: Requirements for graders	ISO：土工 機械－安全 －JIS第7 部、ISO第8 部: グレー ダの要求事 項	グレーダ固有の安全要求事項を 規定	現行JIS は ISO、EN を参考とし つつも日本 独自に作成	JIS A 8340- 7: 2010
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 9:2017	EMM -- Safety - - Part 9: Requirements for pipelayers	ISO：土工 機械－安全 －第9部: パ イプレーヤ の要求事項	パイプレーヤ固有の安全要求事 項を規定		

ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 10:201 7	EMM -- Safety - - Part 10: Requirements for trenchers	ISO : 土工 機械—安全 —第10部: トレンチャ の要求事項	トレンチャ固有の安全要求事項 を規定		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 11:201 7	EMM -- Safety - - Part 11: Requirements for landfill compactors	ISO : 土工 機械—安全 —第11部: ランドフィ ルコンパク タの要求事 項	ソイルコンパクタ及びランド フィルコンパクタ固有の安全要 求事項を規定		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 12:201 7	EMM -- Safety - - Part 12: Requirements for cable excavators	ISO : 土工 機械—安全 —JIS第6 部、ISO第 12部 : 機械 式ショベル の要求事項	機械式ショベル固有の安全要求 事項を規定	現行JIS は EN、ISO を参考とし つつも日本 独自に作 成、なお機 械式ショベ ルは現在で はクラム シェルなど しか生産さ れていない	JIS A 8340- 6: 2010
ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 13:201 7	EMM -- Safety - - Part 13: Requirements for rollers	JIS : 道路 工事機械— 安全—第4 部 : 締固め 機械の要求 事項 ISO : 土工 機械—安全 —第13部: ローラの要 求事項	ローラ固有の安全要求事項を規 定	現行版は EN を参考 としつつも 日本独自に 作成	JIS A 8508- 4: 2006



ISO/TC 127/SC 2	ISO 20474- 15: 2019	EMM -- Safety - - Part 15: Requirements for compact tool carriers	ISO : 土工 機械－安全 －第15部: コンパクト ツールキャ リアの要求 事項	コンパクトツールキャリア(立ち 乗り式又はハンドガイド式で ローダバケットのほか各種ア タッチメントを装着可能なミニ 機械)の安全要求事項であるが、 国内では以前この機種を生産し ていた日本の複数社も撤退のた め、投票棄権したが、FDIS承認 され、2019年4月に制定発行され た。なお、日本の製造業の米国 現地法人はこの機種を手掛けて いるもよう。		
ISO/TC 195/SC 3 に移管	ISO 21467: 2004	EMM -- Horizontal directional drills -- Terminology and specifications	土工機械－ 水平方向ドリ ル－用語 及び仕様項 目	水平方向ドリルに関する用語及 び仕様項目を規定であるが ISO/TC 195/SC 3に移管		
ISO/TC 127/SC 1	ISO 21507: 2010	EMM -- Performance requirements for non-metallic fuel tanks	土工機械－ 非金属製燃 料タンクの 性能要求事 項	非金属性燃料タンクの性能要求 事項を規定、2021-09-03期限の定 期見直しでは、一部「改正」と の投票もあったが、大多数の投 票によって「確認」	JISは最新版 ISOに基づ く(IDT)	JIS A 8335: 2017 (IDT)
ISO/TC 127/SC 2	ISO 21815 規格 群	当初EMM -- Collision awareness and avoidance で あったが Collision warning and avoidance に変 更された	当初は土工 機械－「衝 突気付き及 び回避」で あったが 「衝突警報 及び回避」 に変更	機械と周囲作業員・他機械との 衝突防止のための装置関連の標 準化で、現在は日本のコマツの 岡氏がコンビナーで、当初から 年に数回のWG会議開催して検討 し、いったんパート制の構成を 見直すため取下げ、第1部：通 則・第2部：車載J1939交信イン タフェース・第3部：一般的リス ク範囲及び程度をNPとして再開 し、他の実施ケースは、それ以 降で扱うこととし、なお、ISO 16001物体検知装置及び視界補助 装置との重複の懸念は、ISO 21815では、検知だけでなく衝突 可能性の判断を行う機器を扱う こととしている		

	ISO 21815- 1: 2022	EMM -- Collision warning and avoidance -- Part 1: General requirements	土工機械－ 衝突警報及 び回避－第 1部：通則	衝突警報及び回避装置の共通的 な要求事項を規定する規格案 で、2019年2月期限の投票でNP 承認され、続いて2019年7月末期 限の投票でCD承認され、その 間、2019年3月のサンノゼ、同10 月のブリスベーンなどでの会議 で検討して、DIS投票(2020年6月 15日期限)は承認大多数となっ た、その際の提出意見を、他の 案件と共に2020年7月末から8月 月上旬のWG会議で検討の結果に基 づいてFDIS投票(2021年11月25日 期限)に進み、承認されて、2022 年1月に制定発行された		
	ISO/TS 21815- 2	EMM -- Collision warning and avoidance -- Part 2: On- board J1939 communication interface	土工機械－ 衝突警報及 び回避－第 2部：車載 J1939交信 インタ フェース	衝突警報及び回避装置を後付け する際の母機との交信に関する 規格案で、2019年2月期限のNP 投票承認され、第1部に記載の会 議などで検討して、2019年12月 期限のCD/TS投票も承認され、 投票時各国意見を東京会議で検 討、続いて問題点について委員 会の意見を求め、投票承認され 発行された		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/C D 21815- 3	EMM — Collision warning and avoidance — Part 3: General risk area and risk level	土工機械－ 衝突警報及 び回避－第 3部：一般 的リスク範 囲及び程度	衝突警報及び回避装置を評価す る際のリスク範囲及び程度に関 する技術仕様書案で、2019年1月 15日期限の投票で予備業務とし て検討することが承認され、 2019/08/14期限でNP投票承認さ れ、WDとして登録され、東京会 議でWD案文検討、前記2020年7 月～8月にかけての会合、また、 WGでの(運転員能力補強に関す るもの含む)意見聴取も実施さ れ、Web会議(2021年2月9日～19 日には第4部及び第5部含め検 討・6月21日～7月1日)で検討、 CD投票(2021年9月20日期限)に進 み、承認され、今後DISに進める 方向で、投票時意見などを11月 30日～12月9日のWG会議で、ま た、運転員能力補強に関して11 月24日の特設会議で検討してい る		

ISO/TC 127/SC 2	ISO/P WI 21815- 4	EMM — Collision warning and avoidance — Part 4: Risk Area and Risk Level for Track movement and Swing/rotation	土工機械— 衝突警報及 び回避—第 4部：履帯 動作及び旋 回/回転動 作のリスク 範囲及び程 度	衝突警報及び回避装置を評価す る際の履帯動作及び旋回/回転動 作のリスク範囲及び程度に関する 技術仕様書案で、予備業務とし て2021年2月9日～19日のWG会 議などにて検討開始し、その後 もWeb会議(11月16日～18日)で検 討、また、WGでの意見聴取 (2021年10月19日期限)も実施し ている		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/P WI 21815- 5	EMM — Collision warning and avoidance — Part 5: Risk area and risk level for other forms of motion	土工機械— 衝突警報及 び回避—第 5部：その 他の機械動 作のリスク 範囲及び程 度	衝突警報及び回避装置を評価す る際のその他の機械動作のリス ク範囲及び程度に関する技術仕 様書案で、予備業務として2021 年2月9日～19日のWG会議など にて検討開始し、その後もWeb会 議(11月8日～11日)で検討、ま た、WGでの意見聴取(2021年10 月19日期限)も実施している		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 22448: 2010	EMM -- Anti- theft systems -- Classification and performance	土工機械— 盗難対抗装 置—分類及 び性能	機械の盗難を困難とする装置の 分類及び性能面の格付けを規 定、ISO制定済みであるが、ト ラッキングシステムを今後どう 扱うかの問題あり、2021-12-03期 限の定期見直しでは、「棄権」 除く満票で「確認」された		

ISO/TC 23/SC 19	ISO/DIS 23285	Agricultural machinery, tractors, and earthmoving machinery — Safety of electrical and electronic components and systems operating at 32 to 75 VDC and 21 to 50 VAC	農業機械及びトラクタ並びに土工機械の直流32-75 V及び交流21-50 Vで作動する電気及び電子機能部品及び装置の安全	農業用電子装置TC 23/SC 19とTC 127/SC 3との合同案件でCD段階では両委員会で並行投票したが、DIS以降はISOメンバー国としての単一投票なので、主導側のTC 23/SC 19国内審議団体の日本農業機械工業会との協調を図っている。DIS承認も多数の意見あり、WGで検討し、FDISに進めるべく、ISO/TC 23/SC 19の委員会投票で案文を確認のところ、大多数は賛成も、肝心の担当国の米国が反対、2021年4月以降合同作業グループ会議が複数回(2021年4月20日、21日、7月8日、9日、9月17日、24日、10月1日)開催も、一旦取下げ2022年5月12日期限で再開のNP投票に付されている、極低電圧では適用は小形の機械と思われるが、カーボンニュートラルに向けて、対応強化要と感じられる		
ISO/TC 82/SC 8	ISO/PWI 23724	Emergency remote stop of mining equipment	緊急遠隔停止	ISO/TC 127/SC 2との合同WGのISO/TC 82/SC 8/JWG 1(米国のRoley氏がコンビナー)を設立して検討中、2019年3月にサンノゼで、10月にオーストラリアでJWG会合、規格名称は2019年9月のTC 82総会時に「鋳山」との文言を削除の方向で論議されている。その後、2020年の8月、2021年7月1日(日本時間)にWeb会合して検討中で、日本からも参加しているが、日程遅延のため、PWI予備業務の期限が来たので、予備業務期間の延長の投票(2021年9月11日～10月9日)を親TC 82/SC 8で実施、多少の反対もあったが、大多数の支持を受けて同10月11日から再開となるよう日程再設定され、2022年2月23日にもWeb会合して検討している		

ISO/TC 82/SC 8	ISO/A WI 23725	(WG Title) FMS interfact; ;(Project title) FMS interface to autonomous haulage; (N 27 Text Title)) Autonomous System and Fleet Management System Interoperability	WG名称 「フリート マネーজে メントシス テムのイン ターフェ ース」、業務 名称「自動 運搬のFMS インター フェ ース」、案文 N27名称 「自動シ テムとFMS との相互運 用性」	ISO/TC 127/SC 2との合同WGで あるISO/TC 82/SC 8/JWG 2(コン ビナーはカナダのPolitick氏)を設 立し、2019年3月にはサンノゼ で、10月にはオーストラリアで JWG会合、2020年2月に東京で会 合、新業務項目提案投票(2020年 11月27日期限)は支持され、2021 年3月10日にはWebで会合、2022 年2月25日にも会合して機械の経 路を区分などと論議されたが、 案文の適用範囲と内容が一致し ているかなどとの指摘もあった		
ISO/TC 127/SC 3	ISO 23727: 2009	EMM -- Wheeled loader coupler for attachments	土工機械－ ホイール ローダのク イックヒッ チ	中形ホイールローダのクイック ヒッチの標準寸法を規定、2019- 09-03期限の定期見直しでは、1 件だけ「廃止」との投票もあっ たが（ある海外製造業者の標準 寸法に基づくもようとの問題が ある）、他の大多数の投票に よって「確認」	JIS原案作成 開始	

ISO/TC 127/SC 3	ISO/P wi 23870	EMM -- General standard for secure high speed mobile data communication	土工機械— 安全な高速 移動体通信 の通則	2018年の柳州総会で米国Deere社 のKITTLE氏をコンビナー、 Caterpillar社の専門家をPLとして ISO/TC 127/SC 3/WG 16設立含め 予備業務提案され、2020年2月17 日に東京で第1回会合、その後、 2020年8月と11月、更に2021年3 月3日・4日、5月10日、11日、8 月31日、9月1日・2日、2022年1 月19日、25日、26日のWeb会合 で検討、農業トラクタと作業機 を接続するISO BUS(ISO 11783) の高速化の発想で、土工機械以 外の路外作業機械へも適用拡大 として他の委員会を招待し(2022 年3月2日に連携のための特設会 合など実施)、なお、PWIの日程 超過のため、とりあえず広範な 標準化範囲を意図するパート制 の予備業務項目として当初提案 を置き換えてISO中央事務局権限 による廃案を回避した		
ISO/TC 127/SC 3	ISO/P WI 23870- 1	Off-road machinery — Secure High Speed Data Communication — Part 1: General	路外機械— セキュアな 高速移動体 通信—第1 部：一般			
ISO/TC 127/SC 3	ISO/P WI 23870- 2	Off-road machinery — Secure High Speed Data Communication — Part 2: Physical layer	路外機械— セキュアな 高速移動体 通信—第2 部：物理層			
ISO/TC 127/SC 3	ISO/P WI 23870- 3	Off-road machinery — Secure High Speed Data Communication — Part 3: Security	路外機械— セキュアな 高速移動体 通信—第3 部：セキュ リティ			

ISO/TC 82	ISO 23875: 2021/D Amd 1	Mining — Air quality control systems for operator enclosures — Performance requirements and test methods — Amendment 1	鉱山—運転室内空気質制御装置—性能要求事項及び試験方法—追補1	ISO 23875は2021年2月に発行されたが(DIS投票に際して建設機械分野の意見を資源・素材学会さんをお願いして提出いただいた経緯がある)、フィルタの性能の格付けを追加する追補実施の提案が新業務として投票(2021年12月3日期限)に付され、特段の反対なく承認されて、2022年5月12日期限でDAM投票中である		
ISO/TC 127/SC 2/WG 30	ISO/PWI 24262	EMM -- Multi-point restraint system -- Performance requirements and test	多点式拘束装置—性能要求事項及び試験	前記ISO 6683の改正提案に関して検討された多点式シートベルトについて、案件として分離の方向となり、2019年3月20日期限のSC 2委員会内投票CIBで、ISO 6683改正とは別のPWIとして検討することが承認され、その後の動きなかったが、2022年3月2日のWeb会議でPWI案文検討し、改訂案文を幹事国に提出してNP提案の方向となった		
ISO/TC 127/SC 2	ISO 24410: 2020	EMM -- Coupling of attachments to skid steer loaders	土工機械—スキッドステアローダー—アタッチメントブラケット(日本的にはクイックヒッチ)	スキッドステアローダーのアタッチメントを容易に交換可能なようにする取り付け部の標準化で、従来からメス側を標準化していたが、今回改正提案ではオス側の標準化を目論んでいる。2019年2月期限のCD投票承認され、続いてDISも2019年12月下旬期限の投票で承認され、コメントは、技術上の意見もあるが、担当の米国から数件だけなので意見対応の上FDISに進められ、FDIS投票(2020年7月28日期限)で承認され、2020年8月に改正発行された		

ISO/TC 127/SC 2	ISO/T R 25398: 2006	EMM -- Guidelines for assessment of exposure to whole-body vibration of ride-on machines -- Use of harmonized data measured by international institutes, organizations and manufacturers	土工機械－ 搭乗式機械 の全身振動 暴露の事前 評価指針－ 研究機関、 団体及び製 造業者の国 際整合測定 データ	搭乗式機械の全身振動暴露の事 前評価のための測定データの技 術報告		
ISO/TC 127/SC 2	ISO/W D TR 25398 [Under develo pment]	EMM -- Guidelines for assessment of exposure to whole-body vibration of ride-on machines -- Use of harmonized data measured by international institutes, organizations and manufacturers	土工機械－ 搭乗式機械 の全身振動 暴露の事前 評価指針－ 研究機関、 団体及び製 造業者の国 際整合測定 データ	EUフィジカルエージェント(人体 振動)指令の以前の改正を考慮？ の改正で、SC 2/WG 12設立も、 コンビナー退任などの点もあり いったん取下げ、SC 2でのNP投 票2018-09-25期限(適用範囲は変 更せず、日程36ヶ月、後任コン ビナーは米国Roley氏)で承認さ れ、2019年6月及び12月10日～11 日にSC 2/WG 12会議開催して検 討、データは中立機関であるフ ランスのINRS国立安全研究所の 専門家宛てとされ、2021年6月8 日のWeb会議ではデータ提出書 式整備であったが、12月6日深夜 開催の会合ではINRSからもドイ ツの建設業職業保険組合BGBau やその上位横断的研究機関IFAか らも出席なく、データ秘匿性の 面でこの業務の進展は疑問であ る		



IEC/TC 105	CD IEC 62282- 4-600	FUEL CELL TECHNOLOGI ES – Part 4-600: Fuel cell power systems for propulsion other than road vehicles and auxiliary power units (APU) - Fuel cell/battery hybrid systems performance test methods	燃料電池技術—第4部- 600 道路 走行車両以 外及び補助 電源装置 (APU)の燃 料電池駆動 装置—燃料 電池/蓄電 池組合せ装 置の性能試 験方法	燃料電池駆動に関するIEC/TC 105の標準化案で、ショベルを試 験モードで運転した時を対象と する試験方法の規定を目的とす る韓国の提案で(韓国でフォーク リフトの燃料電池に関する法規 制を建設機械にも拡大の方向で 検討されているとの情報があ る)、ISO/TC 127/SC 3からIEC/TC 105への連携関係を設立(連携代 表はコマツの専門家)して、第2 次CD案に関してISO/TC 127/SC 3 で2021年3月31日期限で意見聴取 し、連携代表を通じて意見提 出、ISOのDISに相当するCDVに 進み、同様意見提出、近日中に FDISに進む見込みである		
ISO/TC 127	CAG	Chair's Advisory Group	土工機械— 議長諮問グ ループ	ISO/TC 127全般としての問題点 を整理するため、以前は非公式 だったが、柳州総会の決議で正 式に設立され、親TC及び傘下の 各SCの国際議長及び委員会マ ネージャー並びに各国首席代表2 名以内で構成されるグループ で、総会時(総会前夕対面会合)及 び総会の間(原則Web会合)に開 催、2021年3月2日にWeb会合。 なお、当初対面会合予定であっ た2021年のTC/SC総会がウェブ 会合となったことから、その準 備のため、2021年6月8日及び総 会直前の10月12日にも会合		
ISO/TC 127	AHG 3	Investigation regarding the differences between block handlers and wheel loaders		柳州総会時、中国からのブロッ クハンドラの提案に関して、既 存のTC 127の規格で扱えるので はとの論議で受け入れられな かったが、その点を更に検討す るため、スウェーデンのボルボ CM社のNILSSON氏をコンビナー として特設グループ設立された が、その後、特段の活動なく、 2020年のWeb総会では、更に次 回総会に向けて検討を継続す ることとなり、2021年の総会でも 同様		

ISO/TC 127/SC 2	AG 1	Operator Protective Structure Standards (ROPS/TOPS/F OPS)	保護構造 (ROPS/TOP S/FOPS)	土工機械だけでなく、農林業用 機械を対象とする保護構造 ROPS・TOPS・FOPS(評価に使用 するDLVも関係)について、各種 論点を見直すため、2018年10月 の柳州会議の決議で米国斗山 Bobcat社のNEVA氏をコンビナー として設立された特設チーム で、2020年1月28日・29日にフラ ンクフルト(amMain)のVDMAで 会合、日本から1名出席、他に数 名がWeb参画、林業機械用の ISO含め、各規格を横断的に整合 化の方向で検討開始し、2020年6 月のWeb総会で、SC 2傘下のAG 1として再編され、2021年11月30 日の会議で関連動向検討、2022 年4月12日にも再度会合して横断 的に問題点を検討している		
--------------------	------	--	------------------------------	---	--	--

#### TC 195の制定済み規格及び作業項目

#### Standards and projects under the direct responsibility of TC 195 Secretariat and its SCs

所管TC/ SC	ISO No:Y	Standard and/or project	和文標題 (JIS標題)	規格内容乃至問題点	JISとISOの 対応など	対応 JIS
ISO/TC 195/SC 1	ISO/P WI 5342	BCME - Concrete machinery - worksite data exchange	建設用機械 及び装置— コンクリー ト施工機械 —施工現場 情報交換	ISO 15143シリーズ：土工機械— 施工現場情報交換に着想を得た (ICTによる機械の位置情報、 バッチ管理、施工データ等の情 報共有化・活用を通じてコンク リート製品の品質維持向上を図 る) 提案で、2017年～予備調査 を開始した。中国のWang氏をコ ンビナー兼PLとして2019年の神 戸総会でISO/TC 195/SC 1/WG 8 を設立、予備業務項目として登 録した。 コンクリート工学会、日建連、 全生連など関連団体にも委員委 嘱し対応している。コンクリー トの生産管理に情報技術を適用 する意図は、永年積み重ねて来 た日本の技術への影響も懸念さ れるが、実状としては殆ど進展 していない		

ISO/TC 195/SC 1	ISO/DI S 6085	BCME - Self-loading mobile concrete mixers - Safety requirements and verification	建設用機械及び装置—自走式投入装置付きコンクリートミキサー安全要求事項及び検証	コンクリート材料の積込み投入装置付きミキサー車（小形の自走式プラント）に関する安全要求事項及び検証を扱う。提案国であるイタリアのGiordano氏をコンビナー兼PLとしてISO/TC 195/SC 1/WG 9を設置、新業務提案投票が2021年5月23日に承認された。 生産国がイタリア・中国などに偏っており対応が容易でないが幹事国として対応、CD投票が9月24日に承認され、10月11日のWG 9会議での検討、2度のWG内意見照会を経てDIS投票を開始した（2022年6月16日期限）		
ISO/TC 195	ISO 11375: 1998	BCME -- Terms and definitions	建設用機械及び装置—用語及び定義	建設用機械及び装置の各機種の名称及び定義を規定しているが、1998年以降改正されていない。2019年9月2日期限の定期見直しでは、日本含む各国の「改正」投票と他国の「確認」投票が同数、多数の意見が提出された。2019年のTC 195総会では「確認」とし、一方で「改正」の予備業務をWG 2で検討する旨が決議された		
ISO/TC 195	ISO/P WI 11375	BCME - Terms and definitions	建設用機械及び装置—用語及び定義	規格改正を予備業務として検討することとなっているが、動きなく、2021年のTC 195バーチャル総会では専門家を追加招集する旨が決議された		
ISO/TC 195/SC 3	ISO 11886: 2002	BCME -- Pile driving and extracting equipment -- Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置—杭打ち杭抜き機—用語及び商業仕様	杭打機及び杭抜機の用語及び仕様項目を規定		
ISO/TC 195/SC 3	ISO 11886: 2002 / Cor 1: 2006		上記の誤記訂正			

ISO/TC 195/SC 3	ISO/W D 11886	Drilling and foundation machinery - Soil and soil/rock drilling and foundation machines - Terminology and commercial specifications	穿孔及び基礎工事用機械—土及び岩の穿孔並びに基礎工事用機械—用語及び商業仕様	ISO/TC 195/SC 3設立に伴い、その適用範囲にある機械の用語及び商用仕様項目の規格とする為、従来の「杭打機及び杭抜機」に「穿孔機械」も含めるよう変更した。ただし、ISO 21467で規定する水平方向ドリルは独立した規格として適用範囲から除外する。 ISO/TC 195/SC 3/WG 1会議を4回開催、WG内意見照会を5回実施した後、新業務提案投票が2022年2月12日に承認された。 3月1日～2日のTC 195/SC 3/WG 1会議で検討、WG内意見照会に付され、4月6日のWG 1会議でも検討した		
ISO/TC 195	ISO/TR 12603: 2010	BCME -- Classification	建設用機械及び装置—分類	各種建設機械の分類を記述 (ISOTR技術報告書なので定期見直し無し)		
ISO/TC 195/SC 1	ISO 13105-1: 2014	BCME -- Machinery for concrete surface floating and finishing -- Part 1: Terms and commercial specifications	建設用機械及び装置—建設用機械及び装置—コンクリート床仕上げ機(パワーローエル)—第1部：用語及び商業仕様	コンクリート床仕上げ機の用語を定義、2020年3月3日期限の定期見直しでは「確認」多数だったが、米国コンビナーを踏まえて改正の為のCIB投票を行うよう2021年のSC 1バーチャル総会で決議した		
ISO/TC 195/SC 1	ISO/A WI 13105-1	BCME -- Machinery for concrete surface floating and finishing -- Part 1: Terms and commercial specifications	建設用機械及び装置—建設用機械及び装置—コンクリート床仕上げ機(パワーローエル)—第1部：用語及び商業仕様	上述のCIB投票が2022年3月3日期限内で「承認」され、米国コンビナーが改正案を提出する予定		

ISO/TC 195/SC 1	ISO 13105- 2: 2014	BCME -- Machinery for concrete surface floating and finishing -- Part 2: Safety requirements and verification	建設用機械 及び装置－ 建設用機械 及び装置－ コンクリート 床仕上げ 機(パワー トロウエ ル)－第2 部：安全要 求及び検証	コンクリート床仕上げ機の安全 要求及び検証を規定、2020年3月 3日期限の定期見直しでは「確 認」多数だったが、米国コンビ ナーの意向を踏まえて改正の為 のCIB投票を行うよう2021年の SC 1バーチャル総会で決議した		
ISO/TC 195/SC 1	ISO 13105- 2: 2014 / Amd 1: 2017	BCME -- Machinery for concrete surface floating and finishing -- Part 2: Safety requirements and verification	建設用機械 及び装置－ 建設用機械 及び装置－ コンクリート 床仕上げ 機(パワー トロウエ ル)－第2 部：安全要 求及び検証	全身及び手腕振動の検証方法に 関する規定を追加		
ISO/TC 195/SC 1	ISO/A WI 13105- 2	BCME -- Machinery for concrete surface floating and finishing -- Part 2: Safety requirements and verification	建設用機械 及び装置－ 建設用機械 及び装置－ コンクリート 床仕上げ 機(パワー トロウエ ル)－第2 部：安全要 求及び検証	コンクリート床仕上げ機の安全 要求及び検証を規定、米国コン ビナーによる上記の研究を踏ま えて改正の為のCIB投票を行うよ う2021年のSC 1バーチャル総会 で決議した		
ISO/TC 195	ISO 15642: 2003	RCME -- Asphalt mixing plants -- Terminology and commercial specifications	JIS：道路 工事機械－ アスファ ルトプラ ント－第1部： 用語及び商 業仕様 ISO：道路 建設用機械 及び装置－ アスファ ルト混練 プラント－ 用語及び 仕様項目	アスファルトプラントの商用仕 様項目及び関連する語彙を規 定、2021年3月4日期限の定期見 直しでは大多数の投票によって 「確認」とされた。 ただし2021年TC 195バーチャル 総会の決議では（今後の改正要 否に関して）定期見直し時の意 見をWG 5で引き続き検討するこ ととされた	JISのISO対 応はMOD	JIS A 8704- 1: 2009

ISO/TC 195	ISO 15643: 2020	RCME - Bituminous binder sprayers and synchronous bituminous binder sprayers- chip spreaders - Terminology and commercial specifications	道路建設用 機械及び装 置－アス ファルト ディストリ ビュータ/ スプレーヤ 並びにチップ スプレッ ダとの同時 施工機－用 語及び商業 仕様	アスファルトディストリビュー タ/スプレーヤの商用仕様項目及び 関連する語彙を規定、改正DISは 「チップスプレッタとの同時施 工機」を含むことされ、2019年 10月17日期限のDIS投票で日本以 外は支持、FDIS投票で承認され 2020年に発行		
ISO/TC 195	ISO 15644: 2002	RCME -- Chippings spreaders -- Terminology and commercial specifications	道路建設用 機械及び装 置－チップ スプレッタ －用語及び 仕様項目	チップスプレッタの商用仕様項 目及び関連する語彙を規定、 2021年3月4日期限の定期見直し で「確認」され、2021年TC 195 バーチャル総会で決議		
ISO/TC 195	ISO 15645: 2018	RCME -- Road milling machinery -- Terminology and commercial specifications	道路工事機 械－路面切 削機－用語 及び仕様項 目	路面切削機の商用仕様項目及び 関連する語彙を規定、改正版は 2018年に満票でFDIS承認されて 同年9月に発行		
ISO/TC 195	ISO 15688: 2012	RCME -- Soil stabilizers -- Terminology and commercial specifications	道路建設用 機械及び装 置－ソイル スタビライ ザ－用語及 び商業仕様	ソイルスタビライザの商用仕様 項目及び関連する語彙を規定、 2012年9月に改正発行、2018年12 月4日期限の定期見直しでは「確 認」多数も一部「改正」との投 票もあり、2018年の総会で「確 認」の旨、決議された		
ISO/TC 195	ISO 15689: 2003	RCME -- Powder binder spreaders -- Terminology and commercial specifications	道路建設用 機械及び装 置－粉末結 合材撒布機 械－用語及 び商業仕様	粉末結合材撒布機械の商用仕様 項目及び関連する語彙を規定、 2021年3月4日期限の定期見直し では「確認」大多数も一部「改 正」の投票で、2021年TC 195 バーチャル総会で改正の為の新 業務項目提案が決議された		

ISO/TC 195	ISO/P WI 15689	RCME -- Powder binder spreaders -- Terminology and commercial specifications	道路建設用 機械及び装 置－粉末結 合材撒布機 械－用語及 び商業仕様	上述のTC 195バーチャル総会での決議では「定期見直し投票結果及び意見に基づきISO 15689を改正、WG 5で予備業務項目として専門家を募集する」だが、WG 5では追補として実施の方向		
ISO/TC 195	ISO 15878: 2021	RCME - Paver- finishers - Commercial specifications	ISO : 道路 建設用機械 及び装置－ ペーパー- フィニッ シャー商用 仕様項目、 対応JIS A 8701 (NEQ) : ア スファルト フィニッ シャーの仕 様書様式及 び性能試験 方法)	アスファルトフィニッシャの商用仕様項目及び関連語彙を規定する規格、改正DISが2020年1月17日期限のDIS投票で日本以外の支持により承認された。各国意見をISO/TC 195/WG 5バーチャル会議で検討、2021年6月7日期限のFDIS投票で承認され、7月15日に改正発行	JIS : アス ファルト フィニッ シャの仕 様書様式 及び性能 試験方法 を規定 (NEQ)、 今後の課 題として JISと ISOとの 整合化を 要検討	JIS A 8701: 1994
ISO/TC 195	ISO 16039: 2004	RCME -- Slipform pavers -- Definitions and commercial specifications	道路建設用 機械及び装 置－スリッ プフォーム ペーパー定 義及び商業 仕様	スリップフォームペーパーの商用仕様項目及び関連する語彙を定義、2021年9月2日期限の定期見直しでは「確認」多数も「改正」数件の投票結果となった。TC 195バーチャル総会で「定期見直し投票結果及び意見に基づきISO 16039を改正する為、WG 5で予備業務項目として専門家を募集する」ことが決議された		
ISO/TC 195	ISO 16039: 2004 / Amd 1: 2013			同上の追補		

ISO/TC 195/SC 1	ISO 17740- 1: 2015	BCME -- Concrete placing systems for stationary equipment -- Part 1: Terminology and commercial specifications	建設用機械 及び装置－ コンクリー ト配管ブー ム－第1 部：用語及 び商業仕様	定置式（コンクリートポンプ車 及びトレーラ搭載式を除く）コ ンクリートポンプの語彙及び商 用年12月3日期限の定期見直しで 「確認」された		
ISO/TC 195/SC 1	ISO 18650- 1: 2021	BCME - Concrete mixers - Part 1: Commercial specifications	建設用機械 及び装置－ コンクリー トミキサー 第1部：商 業仕様	コンクリートミキサの語彙及び 商用仕様項目などを規定する規 格で、2016年12月5日期限の定期 見直しでは「確認」であったが 多数の意見もあり、2017年の総 会で改正を決議した。各国意見 対応を反映したFDIS投票が2021 年4月12日に承認され、5月に改 正版発行。DIS 6085で前述のコ ンクリート材料積込み投入装置 付きミキサー車（小形の自走式 プラント）を適用範囲に追加し た他、ISO業務指針の改定により 従来規格名称に含んでいた「用 語及び」が削除された	ISOの旧版 2004年版に 基づく JIS(MOD) : コンクリー トミキサー 第1部：用 語及び仕様 項目	（旧 版対 応） JIS A 8603- 1: 2010
ISO/TC 195/SC 1	ISO 18650- 2: 2014	BCME -- Concrete mixers -- Part 2: Procedure for examination of mixing efficiency	ISO：建設 用機械及び 装置－コン クリートミ キサー第2 部：混練効 率の試験方 法	コンクリートミキサの性能試験 方法を規定、2019年12月2日期限 の定期見直し時に「確認」と 「改正」が同数であった。 2021年のSC 1バーチャル総会で 改正を決議した（米国Faler氏を ISO/TC 195/SC 1/WG 7コンビ ナーに任命、併せて各国専門家 を追加指名）	JIS：コンク リートミキ サー第2 部：練混ぜ 性能試験方 法(ISOの旧 版に基づく)	JIS A 8603- 2: 2010
ISO/TC 195/SC 1	ISO/A WI 18650- 2	BCME -- Concrete mixers -- Part 2: Procedure for examination of mixing efficiency	ISO：建設 用機械及び 装置－コン クリートミ キサー第2 部：混練効 率試験手順	上述のCIB投票が2022年3月5日期 限で「承認」され、米国コンビ ナーが改正案を検討する予定		



ISO/TC 195/SC 1	ISO 18651- 1: 2011	BCME -- Internal vibrators for concrete -- Part 1: Terminology and commercial specifications	建設用機械 及び装置－ コンクリー ト内部振動 機－第1 部：用語及 び商業仕様	コンクリート内部振動機につい て全般に規定 2022年3月13日期限の定期見直し では「確認」「改正」「廃止」 の投票あり 今後見直しを提案し、日本がコ ンビナー兼PL引受けを申し出る 方針	JISはCD 18651:2002 に基づく	JIS A 8610: 2004
ISO/TC 195/SC 1	ISO 18652: 2005	BCME -- External vibrators for concrete	建設用機械 及び装置－ コンクリー ト外部振動 機	コンクリート外部振動機につい て全般に規定、2020年12月3日期 限の定期見直しで「確認」され た	JISはDIS 18652:2002 に基づく	JIS A 8611: 2004
ISO/TC 195	ISO 19432- 1:2020	BCME - Portable, hand- held, internal combustion engine-driven abrasive cutting machines - Part 1: Safety requirements for cut-off machines for centre-mounted rotating abrasive wheels	建設用機械 及び装置－ エンジン カッター第 1部：回転 ブレード式 の安全要求 事項	エンジンカッターの安全要求事項 を規定、回転ブレード式を第1部 として独立させる改正がFDIS投 票で承認され、2020年1月発行		
ISO/TC 195	ISO/N P 19432- 2	BCME - Portable, hand- held, internal combustion engine driven abrasive cutting machines - Part 2: Machines for abrasive chains - Safety requirements	建設用機械 及び装置－ エンジン カッター第 2部： チェー ンソー式 の安全要 求事項	第1部から分離したチェーンソー 式エンジンカッターを第2部とする 予備業務の検討を開始 2021年TC 195バーチャル総会 での決議に従い ISO/TC 195/WG 6 で案文を準備し、2022年6月16日 期限でCIB投票を開始		
ISO/TC 195	ISO 19433: 2008	BCME -- Pedestrian- controlled vibratory plates -- Terminology and commercial specifications	建設用機械 及び装置－ 手押し式振 動プレート －用語及び 商業仕様	手押し式振動プレートの商用仕 様項目を規定し関連する語彙を 定義、2018年6月4日期限の定期 見直しでは「確認」多数だが一 部「改正」意見あり その後2020年のTC 195バーチャ ル総会でTC 195/WG 7が解散と なった為、予備業務が取り下げ られ「確認」となった		

ISO/TC 195	ISO 19452: 2008	BCME -- Pedestrian-controlled vibratory (percussion) rammers -- Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置ー手押し式振動（打撃）ランマー用語及び商業仕様	手押し式振動ランマーの商用仕様項目を規定し関連する語彙を定義、2018年6月4日期限の定期見直しでは「確認」多数だが一部「改正」意見あり その後2020年のTC 195バーチャル総会でTC 195/WG 7が解散となった為、予備業務が取り下げられ「確認」となった		
ISO/TC 195	ISO 19452: 2008 / Cor 1: 2008	BCME — Pedestrian-controlled vibratory (percussion) rammers — Terminology and commercial specifications — Technical Corrigendum 1		同上 技術正誤表		
ISO/TC 195/SC 1	ISO 19711-1: 2018	BCME -- Truck mixers -- Part 1: Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置ートラックミキサー第1部：用語及び商業仕様	トラックミキサーの商用仕様項目及び関連する語彙を定義する日本提案の規格で、カヤバ清水氏をISO/TC 195/SC 1/WG 4コンビナー兼PLとして推進、2018年に制定発行した		
ISO/TC 195/SC 1	ISO/C D 19711-2	BCME - Truck mixers - Part 2: Safety requirements	建設用機械及び装置ートラックミキサー第2部：安全要求事項	これまで障害となっていた欧州整合化規格EN 12609の改正作業が2021年に完了した事を受け、ENとの整合を図りつつ日本がISO/TC 195/SC 1/WG 4コンビナー国として新業務提案を行い、NP投票(2021年2月22日期限)で承認された。その後4回のバーチャルWG会議を経てCD投票(2022年3月4日期限)で「承認」要件を満足、継続審議となっている各国意見にも対処すべく引き続きバーチャルWG会議を開催する	JIS A 8614:2010 トラックミキサー-安全要求 (prEN 12609 を参考)	JIS A 8614: 2010

ISO/TC 195/SC 1	ISO 19720-1: 2017	BCME -- Plants for the preparation of concrete and mortar -- Part 1: Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置—コンクリートプラント—第1部：用語及び商業仕様	コンクリートプラントの商用仕様項目及び関連語彙を規定する規格、中国担当で標準化し、2017年に発行され、2022年中に定期見直し投票が開始される。なお、第2部:安全要求に関しては、欧州対応規格EN 12151改正作業との調整がつかず、期限切れで予備業務の登録削除となった		
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500 規格群	Mobile road construction machinery - Safety	自走式道路建設機械—安全性	欧州機械指令に対応するEN 500シリーズ-自走式道路建設機械の安全要求をISO化する提案で、第1部～第7部がDIS投票(2020年10月1日期限)で承認されたが多数のコメントが提出された。これらに対処するためISO/TC 195/WG 9でバーチャルWG会議を計22日にわたり開催して各国意見及びHASコンサルタント指摘への対応を検討中。また、プロジェクト期限切れを回避する為、9ヶ月の期間延長をCIB投票で決定した(2021年9月9日期限)		
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-1	Mobile road construction machinery - Safety - Part 1: Common requirements	自走式道路建設機械—安全性—第1部：共通要求事項	共通要求事項を扱う第1部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中	JISはENを参考としている	JIS A 8508-1
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-2	Mobile road construction machinery - Safety - Part 2: Specific requirements for road-milling machines	自走式道路建設機械—安全性—第2部：路面切削機の要求事項	路面切削機械固有の安全要求事項を扱う第2部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中	JISはENを参考としている	JIS A 8508-2: 2008
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-3	Mobile road construction machinery - Safety - Part 3: Specific requirements for soil-stabilising machines and recycling machines	自走式道路建設機械—安全性—第3部：ロードスタビライザ及び路面再生機械の要求事項	ロードスタビライザ及び路面再生機械固有の安全要求事項を扱う第3部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中	JISはENを参考としている	JIS A 8508-3: 2008

ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-4	Mobile road construction machinery - Safety - Part 4: Specific requirements for compaction machines	自走式道路建設機械—安全性—第4部：締固め機械の要求事項	ハンドガイド式締固め機械固有の安全要求事項を扱う第4部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中 遠隔操縦式機械の自動停止に関するWG意見照会が実施された		
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-5	Mobile road construction machinery - Safety - Part 5: Mobile Specific requirements for paver-finishers	自走式道路建設機械—安全性—第5部：ペーパー-フィニッシャの要求事項	アスファルトフィニッシャ固有の安全要求事項を扱う第5部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中	JISはENを参考としている	JIS A 8508-6: 2008
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-6	Mobile road construction machinery - Safety - Part 6: Specific requirements for mobile feeders	自走式道路建設機械—安全性—第6部：自走式フィーダの要求事項	自走式フィーダ（横取機）固有の安全要求事項を扱う第6部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中 自走式道路建設用機械として、アスファルト舗装用機械、コンクリート舗装用機械の両方を含む可能性がある		
ISO/TC 195	ISO/DIS 20500-7	Mobile road construction machinery - Safety - Part 7: Specific requirements for slipform paver and texture curing machines	自走式道路建設機械—安全性—第7部：スリップフォームペーバ及びコンクリート養生機の要求事項	スリップフォームペーバ及びコンクリート養生機固有の安全要求事項を扱う第7部は、DIS投票(2020年10月1日期限)にて承認された後、上述の検討中		
ISO/TC 127/SC 4 から ISO/TC 195/SC 3 に移管	ISO 21467: 2004	EMM -- Horizontal directional drills -- Terminology and specifications	土工機械—水平方向ドリルー用語及び商業仕様	水平方向ドリルに関する用語及び仕様項目を規定 TC 127からTC 195/SC 3へ移管		

ISO/TC 195/SC 3	ISO/DIS 21467	Drilling and foundation machinery - Horizontal directional drilling (HDD) machines - Terminology and commercial specifications	穿孔及び基礎工事用機械—水平方向ドリル—用語及び商業仕様	水平方向ドリルがISO/TC 127からISO/TC 195/SC 3へ移管され、これに伴いISO/TC 195/SC 3で新業務提案投票(期限2021年1月27日)を実施、改正が承認されたCD投票(7月28日期限)で承認ISO/TC 195/SC 3/WG 1バーチャルWG会議及びSC 3バーチャル総会を経てDIS投票を実施(2022年4月13日期限)		
ISO/TC 195	ISO 21537-1:2004	Clamping flanges for superabrasive cutting-off wheels -- Part 1: Natural stone	超砥粒切断ホイールの取付けフランジ Part1：天然石材	ISO/TC 29/SC 5の依頼を受けてISO 21537-1 及び ISO 21537-2の引受けが2019年のTC 195総会で決議され、TC 195/WG 6に移管された なお、和文名称は「ダイヤモンド工業協会」HPの記載より引用他に「研削砥石工業会」、「研削布紙協会」等ISO/TC 29/SC 5（研削砥石及び研削材）の所管関係団体と協力要)		
ISO/TC 195	ISO 21537-2:2004	Clamping flanges for superabrasive cutting-off wheels -- Part 2: Building and construction	超砥粒切断ホイールの取付けフランジ Part2：建築	同上		
ISO/TC 195/SC 1	ISO 21573-1: 2014	BCME -- Concrete pumps -- Part 1: Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置—コンクリートポンプ—第1部：用語及び商業仕様	コンクリートポンプの商用仕様項目及び関連する語彙を規定、2019年12月2日期限の定期見直しで改正意見が多数 中国のISO/TC 195/SC 1/WG 6コンビナーが今後の扱いを検討することが2021年のSC 1バーチャル総会で決議された		
ISO/TC 195/SC 1	ISO 21573-2: 2020	BCME - Concrete pumps - Part 2: Procedure for examination of technical parameters	建設用機械及び装置—コンクリートポンプ—第2部：技術委員会パラメーターの試験要領	コンクリートポンプの性能試験方法を規定、中国のコンビナー兼PLが改正案を検討し、DIS投票(2020年4月3日期限)で承認され2020年12月に改訂版発行		

ISO/TC 195/SC 1			コンクリート及びモルタルの圧送ポンプ、吹付機及びブーム装置—安全要求事項	コンクリートポンプなどの安全要求事項を規定、過去にISO化を提案したが、欧州規格EN 12001の見直しを優先する欧州勢により実現せず ISO 21573-第3部:安全要求として中国が新業務提案を画策中 国内規格JIS A 8612とも関連するEN 12001見直しを開始する際はウィーン協定に基づくISO化の意向を改めてCENに伝える予定	JISはENを参考としている	JIS A 8612: 2006
ISO/TC 195/SC 1	ISO 21592: 2006	BCME -- Concrete spraying machines -- Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置—コンクリート吹付機—用語及び商業仕様	コンクリート吹付機の商用仕様項目を規定し関連する語彙を定義、2020年12月2日期限の定期見直しで「確認」された		
ISO/TC 195	ISO 21873- 1: 2015	BCME -- Mobile crushers -- Part 1: Terminology and commercial specifications	建設用機械及び装置—自走式破碎機—第1部：用語及び商業仕様	自走式破碎機の商用仕様項目を規定し関連する語彙を定義、2020年12月2日期限の定期見直しで「確認」された		
ISO/TC 195	ISO 21873- 2: 2019	BCME -- Mobile crushers -- Part 2: Safety requirements	ISO：建設用機械及び装置—自走式破碎機—第2部：安全要求事項	ISO：自走式破碎機の安全性に関する要求事項を規定、2019年にFDIS投票で承認され、改正版発行	JIS：履带式建設リサイクル機械—安全—第1部：自走式クラッシャの要求事項	JIS A 8706- 1: 2010
ISO/TC 195	ISO 22242: 2005	Road construction and road maintenance machinery and equipment -- Basic types -- Identification and description	道路建設及び保守用機械及び装置—基本機種—識別及び記述	道路工事機械の各機種の名称及び定義を規定、2015年12月15日期限の定期見直しで「確認」、2018年のTC 195総会で決議された		
ISO/TC 195	ISO 22242: 2005 / Amd 1: 2013			同上追補案		

ISO/TC 195/SC 2	ISO/DI S 24147	Sweepers - Terminology and commercial specifications	路面清掃車 —用語及び 商業仕様	路面清掃車の用語及び仕様に関 する提案で、2019年に新業務提 案投票で承認された COVID-19による6ヶ月の保留期 間を経て再開、2021年にISO/TC 195/SC 2/WG 2バーチャルWG会 議を3回開催して検討、CD投票 及び意見照会を実施した後、DIS 登録		
ISO/TC 195/SC 2	ISO/P WI 24148	Sweepers - Efficiency of particulate matter collection - Testing and	路面清掃車 —粒状物質 収集効率 - 試験及び評 価	路面清掃車の性能試験に関する 提案だが2019年の新業務提案投 票で承認要件を満足せず、予備 業務として検討中		
ISO/TC 195/SC 2	ISO/P WI 24149	Sweepers - Performance requirements and test methods	路面清掃車 —性能要求 事項及び試 験方法	同上		
ISO/TC 195/SC 2	ISO/P WI 24150	Winter maintenance equipment - Spreading and spraying machines - General requirements and definitions	冬季道路保 守用機器— 凍結防止剤 散布車—通 則及び定義	凍結防止剤散布車に関する提案 だが2019年の新業務提案投票で 承認要件を満足せず、予備業務 として検討中	協会団体規 格JCMAS F015: 1998 凍結防止剤 散布車—仕 様書様式が 対応	
ISO/TC 195/SC 2	ISO/P WI 24151	Winter maintenance equipment - Spreading and spraying machines - Requirements for distribution and their test	冬季道路保 守用機器— 凍結防止剤 散布車—散 布性能要求 事項及び散 布試験	同上	協会団体規 格JCMAS T008: 1998 凍結防止剤 散布車—性 能試験方法 が対応	
ISO/TC 195/SC 2	ISO/P WI 24152	Winter maintenance equipment - Snow ploughs	冬季道路保 守用機器— スノープラ ウ	除雪車両のスノープラウに関す る提案だが2019年の新業務提案 投票で承認要件を満足せず、予 備業務として検討中	スノープラ ウを装着す る除雪グ レーダ・除 雪トラッ ク・除雪 ドーザに関 する協会団 体規格に対 応するか検 討要	

ISO/TC 195		Full Face Tunnel Boring Machines -- Commercial specifications	全断面トンネルボーリング機械—商業仕様	中国による全断面掘削機械(シールド機械及びTBM含む)商業仕様の標準化提案、新業務提案様式に準じた予備業務項目提案を中国が準備中		
ISO/TC 195/SC 3	ISO/TC 195/SC 3/WG 2(仮)	EN ISO safety standard specifically for HDD machines	水平方向ドリルの安全要求事項	2021年SC 3バーチャル総会で「水平方向ドリルに関する安全要求事項をCENと共同で作成する為、作業グループ設立、専門家招集の実施」を決議		
	ISO/TC 195/SC 3/WG 3(仮)	Safety of drilling and foundation machinery except HDDs	穿孔及び基礎工事用機械の安全要求事項	2021年SC 3バーチャル総会で「穿孔機械及び基礎工事用機械(水平方向ドリルを除く)に関する安全要求事項をCENと共同で作成する為、作業グループ設立、専門家招集の実施」を決議		

#### ISO/TC 214の制定済み規格及び作業項目

#### Standards and projects under the direct responsibility of TC 214 Secretariat and its SCs

所管TC/SC	ISO No:Y	Standard and/or project	和文標題 (JIS標題)	規格内容乃至問題点	JISとISOの対応など	対応JIS
ISO/TC 214	ISO 16368:2010	MEWPs -- Design, calculations, safety requirements and test methods	高所作業車—設計, 計算, 安全要求事項及び試験方法	高所作業車の設計基準、計算基準、安全要求事項などを規定	2011年度～ISOに基づくJIS原案作成し、厚生労働大臣及び経済産業大臣の共管でJIS制定発効	JIS B 9690:2013



ISO/TC 214	ISO/C D 16368	MEWPs — Design, calculations, safety requirements and test methods	高所作業車 —設計, 計 算, 安全要 求事項及び 試験方法	高所作業車の設計基準、計算基 準、安全要求事項などを規定す る規格の改正作業で、予備業務 項目PWIとして改正案を検討、 日本も国内基準・国内事情など に基づき意見提出しているが、 そのままでは受け入れられてお らず、改正業務として正式に登 録のため案文を付して委員会内 投票(2021年5月25日期限)承認さ れ、その後WG会議が多数開催 (2021年6月9日・17日・22日、9 月3日・8日・16日・21日・30 日、10月8日、11月4日・16日、 12月2日)されて案文WD 16368へ の各国意見への対応を検討、各 専門家意見に確認を求め(期限 2022年1月12日)、2022年4月28日 期限でCD投票中		
ISO/TC 214	ISO 16369: 2007	Elevating work platforms -- Mast-climbing work platforms	昇降式作業 台—移動昇 降式足場	移動昇降式足場の要求事項を規 定(EN 1495に基づくと思われる)、2022年6月13日期限で定期 見直し中も、国内実情から従来 は「棄権」している		
ISO/TC 214	ISO 16653- 1: 2008	MEWPs -- Design, calculations, safety requirements and test methods relative to special features -- Part 1: MEWPs with retractable guardrail systems	高所作業車 —特別仕様 に関する設 計、計算、 安全要求事 項及び試験 方法—第1 部：保護柵 開閉式高所 作業車	保護柵開閉式高所作業車の安全 要求事項を規定、引越し作業 用か？2022年6月13日期限で定期 見直し中、国内実情から、日本 として従来は「棄権」している		

ISO/TC 214	ISO 16653- 2: 2021( 改正新 版)	MEWPs — Design, calculations, safety requirements and test methods relative to special features — Part 2: MEWPs with non-conductive (insulating) components	高所作業車 — 特別仕様 に関する設 計、計算、 安全要求事 項及び試験 方法—第2 部：非導電 (絶縁的)構 成部品の高 所作業車	活線近接高所作業車に関する規格の改正で、CD投票に引き続き日本は国内の配電事情・国内法令との関係からCD(2020年5月23日期限)及びDIS(2021年1月22日期限)反対も、大多数の賛成で承認され、2021年4月8日のISO/TC 214/WG 1会議で投票結果及び各国意見を検討してFDIS投票(8月6日期限)に進められ、満票で承認(日本は国内事情だけによる反対では各国との連携困難と考えられるので棄権)され2021年10月に改正発行された		
ISO/TC 214	ISO 16653- 3: 2011	MEWPs -- Design, calculations, safety requirements and test methods relative to special features -- Part 3: MEWPs for orchard operations	高所作業車 — 特別仕様 に関する設 計、計算、 安全要求事 項及び試験 方法—第3 部：果樹園 用高所作業 車	果樹園高所に関する要求事項を規定するが、海外での車輪式を想定して記述されているので、国内に多い履帯式に適するか懸念があり、定期見直し(2021年9月2日期限)に付されたが、「確認」多数(実情は「棄権」が更に多数)も処置は未決定、なお、日本は、国内製造業から特段のご意見をいただかなかったので「棄権」		
ISO/TC 214	ISO 18878: 2013	MEWPs -- Operator (driver) training	高所作業車 — 運転員の 教育	高所作業車の運転員の教育に関して規定、2018-12-03期限の定期見直しでは、日本は国内法令及び実情との差異から、他にも数か国が「改正」投票も、多数は「確認」だったが、「棄権」も同程度あり、処理未定(90.60)		
ISO/TC 214	ISO 18893: 2014	MEWPs -- Safety principles, inspection, maintenance and operation	高所作業車 — 安全原 則、検査、 保守及び運 転	高所作業車の取扱説明書に記述すべき安全原則、運転上の注意事項などを規定、2020-03-03期限の定期見直しでは、日本は国内法令との関連から、他にも数か国が「改正」投票で「確認」を上回るが、処理未定		

ISO/TC 214	ISO 20381 :2009	MEWPs -- Symbols for operator controls and other displays	高所作業車 — 操縦装置 及び表示用 識別記号	操縦装置や機器の表示に用いる 絵文字シンボルで機種共通の ものを規定、2014-12-15期限の定期 見直しでは、日本は一部図記号 の追加を求めて「改正」の旨投 票も、多数は「確認」投票だっ たが、いったん2016年の総会 で、改正の旨のWG 1報告の承認 を決議したが、2018年の総会 で、改正の予備業務項目の承認 を決議しているが、その後動き なく、現在は「確認」となっ ている		
ISO/TC 214	ISO 21455: 2020	Mobile elevating work platforms -- Operator's controls -- Actuation, displacement, location and method of operation	高所作業車 — 操縦装置 — 操作力、 ストロー ク、位置及 び操作方法	高所作業車の操縦装置に関する 規格で、日本だけは一部規定が 過度に制約的として反対してき たが、日本以外の各国は支持、 2020年2月18日期限のFDIS投票承 認され、2020年4月に制定発行さ れた		
ISO/TC 214		Multi-purpose Personnel Elevating Platforms (MPEPs)		ISO/TC 110/SC 2(動力付き産業車 両(フォークリフト)の安全)との JWG設立が決議されたが、国内 では実績のない機械なので、棄 権している。なお、ISO/TC 110/SC 2国内審議団体の(一社)産業車両 協会さんも、本件は棄権と伺っ ている		

その他のJIS

所管TC/ SC	ISO No:Y	Standard and/or project	和文標題(JIS標題)	対応 JIS
TC 23/SC 13		対応ISO無し	ロータリ除雪車—性能試験方法	JIS D 6509: 1992
TC 23/SC 13		対応ISO無し	ロータリ除雪車—仕様書様式	JIS D 6510: 1992
TC 31/SC 6		対応ISO無し	産業車両及び建設車両用タイヤの諸元	JIS D 6401: 1995

TC 31/SC 7 TC 31/SC 6	ISO 3739-3 ISO 4250-3	(3739-3)Industrial tyres and rims -- Part 3: Rims (4250-3) Earth- mover tyres and rims -- Part 3: Rims	産業車両及び建設車両用ホイールリムの輪郭		JIS D 6402: 1999
TC 82		対応ISO無し	トンネル工事機械－安全－第1部：シールド 及び推進機の要求事項		JIS A 8202- 1: 2007
TC 82		対応ISO無し	トンネル工事機械－安全－第2部：自由断面 トンネル掘削機の要求事項		JIS A 8202- 2: 2007
TC 82		対応ISO無し	トンネル工事機械－安全－第3部：全断面ト ンネル掘進機(TBM)の要求事項		JIS A 8202- 3: 2010
TC 115		対応ISO無し	工事中水中ポンプ	追補1を 2009に発行	JIS A 8604: 1994
TC 118/SC 6		対応ISO無し	建設用回転圧縮機の仕様書様式及び性能試験方法		JIS A 8507: 2002
TC 127/SC 4		対応ISO無し	土工機械－油圧ショベル－第2部：仕様書様式		JIS A 8403- 2: 1998
TC 127/SC 1		対応ISO無し	土工機械－油圧ショベル－第3部：性能試験方法		JIS A 8403- 3: 1998
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	土工機械－トラクター－第2部：仕様書様式及 び性能試験方法		JIS A 8420- 2: 1998
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	土工機械－ローダー－第2部：仕様書様式及び 性能試験方法	(追補1を 2011に発行)	JIS A 8421- 2: 1998
TC 127/SC 4		対応ISO無し	土工機械－ダンプトラック－第2部：重ダ ンプトラックの仕様書様式		JIS A 8422- 2: 1998

TC 127/SC 1		対応ISO無し	土工機械－ダンプトラック－第3部：性能試験方法	JIS A 8422- 3: 1998
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	土工機械－グレーダー－第2部：仕様書様式及び性能試験方法	JIS A 8423- 2: 1998
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	振動ローラの仕様書様式及び性能試験方法	JIS A 8506: 1994
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	土工機械－スクレーパー－第2部：仕様書様式及び性能試験方法	JIS D 0004- 2: 1998
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	土工機械－エンジン－第2部：ディーゼルエンジンの仕様書様式及び性能試験方法	JIS D 0006- 2: 2000
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	タイヤローラの仕様書様式及び性能試験方法	JIS D 0007: 1994
TC 127/SC 1 & 4		対応ISO無し	ロードローラの仕様書様式及び性能試験方法	JIS D 0008: 1994
TC 195		対応ISO無し	ディーゼルパイルハンマの仕様書様式	ISO 11375との整合を再チェック要 JIS A 8501: 1994
TC 195		対応ISO無し	振動パイルハンマの仕様書様式	ISO 11375との整合を再チェック要 JIS A 8502: 1994
TC 195		対応ISO無し	アースオーガの仕様書様式	JIS A 8504: 1994
TC 195		対応ISO無し	アースドリルの仕様書様式	JIS A 8505: 1994
TC 195		対応ISO無し	道路工事機械－安全－第5部：コンクリートカッタの要求事項	JIS A 8508- 5: 2008

TC 195		対応ISO無し	道路工事機械－安全－第7部：アスファルト ディストリビュータ及びアスファルトスプ レーヤの要求事項	JIS A 8508- 7: 2010
TC 195		対応ISO無し	基礎工事機械－安全－第1部：くい打機の要求事項	JIS A 8509- 1: 2007
TC 195		対応ISO無し	路面清掃機械の安全要求事項	ISO/TC 195/SC 2発 足によって 今後要検討 となろう JIS A 8510: 2010
TC 195		対応ISO無し	道路工事機械－アスファルトプラント－第2 部：仕様書様式及び性能試験方法	JIS A 8704- 2: 2009
TC 195		対応ISO無し	アスファルトプラント類の安全要求事項	JIS A 8705: 2010
TC 195		対応ISO無しで あるが、 ISO/TC 195/SC 3の新業務とな る見込み	せん孔機械の安全要求事項	ISO/TC 195/SC 3活 動によって 今後要検討 となろう JIS A 8707: 2010
?		対応ISO無し	建設機械用稼働記録計	JIS A 8108: 1992